

消防年報

令和8年版



令和7年度防火ポスターコンクール 最優秀賞
栃木市立国府北小学校 熊倉 光気さん

栃木市消防本部

ま え が き

この消防年報は、当消防本部の主な消防業務を統計的に収録し、その実態を多くの皆様に紹介すると共に今後の消防行政の効率的な運営を図ることの一助となることを目的として編集いたしました。

本書をご覧いただき安全・安心な町づくりのため、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

栃木市消防本部

目 次

消防本部の沿革	1
---------	---

消防のあゆみ	2
--------	---

消防総務課関係

面積・世帯数・人口・人口密度	1 1	消防庁舎所在地及び構造等	1 6
管内人口の推移	1 1	栃木市の予算と消防予算	1 6
消防組織図	1 2	令和 8 年度消防予算（内訳）	1 6
消防職員の定数及び実員	1 3	本部・署・配置図	1 7
消防職員配置状況	1 3	職員資格取得状況	1 8
消防職員の年齢	1 4	職員教育実施状況	1 8
消防職員勤続年数	1 5		

予防課関係

月別火災発生状況	1 9	防火対象物別消防訓練実施状況	2 4
過去 1 0 年間の地域別火災件数	2 0	危険物製造所等施設数	2 6
原因別火災件数	2 1	地域別危険物施設数	2 6
消防同意処理状況	2 2	貯蔵取扱倍数別製造所等施設数	2 8
防火対象物別立入検査実施状況	2 3		

警防課関係

消防車両等の現勢	2 9	東北・北関東自動車道栃木市消防本部出動圏内図	3 3
消防車等配置図	3 0	東北自動車道災害出動件数	3 3
消防機械器具資器材配備状況	3 1	北関東自動車道災害出動件数	3 3

通信指令課関係

通信指令センター概略系統図	3 4	1 1 9 番通報受付回数	3 8
システム主要機器	3 5	固定電話・携帯電話受付比較	3 8
気象関係	3 7		

救急・救助統計

月別救急件数・搬送人員……………	3 9	署別救急活動状況……………	4 3
過去5年間の救急件数・搬送人員……………	3 9	地域別救急活動状況……………	4 3
月別高速道路活動状況……………	4 0	救助活動状況……………	4 4
過去5年間高速道路活動状況……………	4 0	地域別救助活動状況……………	4 4
年齢別・事故別・程度別搬送人員状況…	4 1	事故種別救助活動状況……………	4 4
曜日別・事故種別搬送人員状況……………	4 1	過去5年間の救助活動状況……………	4 4

消防水利関係

地域別消防水利設置状況……………	4 5
------------------	-----

栃木市消防団関係

栃木市消防団の歩み……………	4 6	栃木地域消防車両現勢……………	5 2
消防団員の定員及び実員……………	5 0	大平地域消防車両現勢……………	5 3
消防団員配置状況……………	5 1	藤岡地域消防車両現勢……………	5 3
車両配置状況……………	5 1	都賀地域消防車両現勢……………	5 4
団本部車両現勢……………	5 1	西方地域消防車両現勢……………	5 4
女性分団車両現勢……………	5 1	岩舟地域消防車両現勢……………	5 5

消 防 本 部 の 沿 革

当消防本部は、昭和24年に栃木市消防本部として発足、その後昭和46年に栃木市と隣接の藤岡町、大平町、都賀町、西方村の1市3町1村で一部事務組合を組織し名称を栃木地区広域消防組合消防本部としました。その後、昭和51年に消防以外の業務も行う複合事務組合を組織し名称を栃木地区広域行政事務組合消防本部となりました。

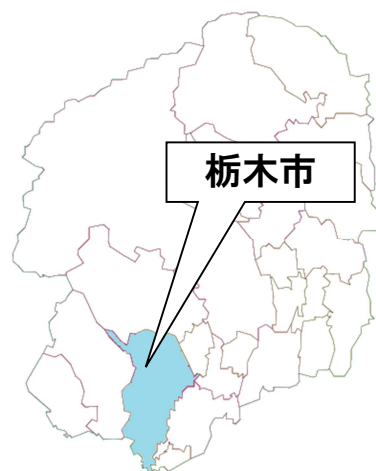
平成23年10月、市町合併で新生栃木市が誕生したことにより栃木市消防本部に名称変更、平成26年4月には岩舟町と合併で新たに岩舟町区域を管轄することとなりました。人口約15万人が暮らす栃木市を1本部・1署・5分署、消防職員203人、消防団員893人（令和8年4月1日現在）で消防業務を行っています。

栃木市は栃木県南部に位置し、東西約22.3km、南北約33.1km、管内面積は331.50km²で関東平野に連なる平坦地が広がり、北部には足尾山系の山々が連なります。これらの山地に端を発した河川は市の北部を流れる思川、市の中央近くを流れる巴波川や永野川、市の南部を流れる渡良瀬川となって、いずれも利根川に合流しています。

市の中心街は「蔵の街」と呼ばれ、巴波川の川面に影をおとして並ぶ蔵屋敷と白壁の町並みが当時のまま残っています。市の南部にはラムサール条約に登録された渡良瀬遊水地を有し、貴重な生物が生育しています。四季折々の彩りを見せる太平山、万葉集にもうたわれた三轟山などの観光スポットが点在し、毎年多くの観光客が訪れています。私たち職員は、このような歴史と自然を守り、地域住民が安全安心に暮らせるまちづくりを目標にして、消防団及び自主防災組織等との連携を図りながら業務に励んでいます。



栃木市マスコットキャラクター
とち介



栃木県栃木市の位置図

消 防 の あ ゆ み

昭和14年 4月	警防団令が公布され栃木市警防団が結成された
昭和19年 9月	常備消防部設置 消防部員以下15名 消防ポンプ自動車2台
昭和22年12月	消防組織法公布
昭和24年 8月	栃木市消防本部発足
昭和25年 7月	水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)1台を消防本部に配備する
昭和28年 7月	栃木市消防署発足 (職員)26名、(装備)消防ポンプ自動車1台、水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)1台、消防ポンプ三輪自動車1台、救急自動車1台
昭和29年	栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎改築 昭和29、30年度の2ヶ年度継続事業により庁舎を増改築 小型動力ポンプ付積載車を栃木市消防署に配備する
昭和32年	消防用陸上無線電話機
昭和34年12月	(中短波)基地局(国消F-2型)1基、移動局(国消M-2型)1基、 携帯用(国消CM-2型)1台購入 指揮連絡車を栃木市消防署に配備する
昭和35年 4月 11月	消防ポンプ自動車を栃木市消防署に配備する 救急車(2B型)を栃木市消防署に配備する
昭和36年 3月 12月	消防用陸上無線電話機(中短波) 移動局(国消M-2型)1基を消防ポンプ自動車に装備する
昭和37年 4月	共電式構内電話交換機(15回線)を栃木市消防本部・栃木市消防署に設置する
昭和39年 2月 5月	水槽付消防ポンプ自動車(2,000ℓ)を栃木市消防署に配備する(水槽付消防ポンプ自動車2台保有) 消防用陸上無線電話機 (中短波)移動局(国消M-2型)1基を救急車に装備する
昭和41年 8月 11月	広報車を栃木市消防署に配備する 消防ポンプ自動車(火災保険号)が『社団法人日本損害保険協会』より寄贈、 栃木市消防署に配備する
昭和42年 9月 10月	栃木市に消火栓が設置される 超短波無線電話機 基地局1基、移動局5基、携帯局1基を配備、中短波無線機の更新を図る
昭和43年 5月 11月	救急自動車が、『栃木青年会議所』より寄贈、栃木市消防署に配備する (救急車2台保有) 救命索発射銃1挺を栃木市消防署に配備する
昭和44年 6月	新消防庁舎(RC造 3階建 延1,313.44㎡)を平柳町1丁目34番5号に起工

昭和45年	5月	栃木市平柳町1丁目34番5号に消防庁舎竣工移転 一斉指令装置操作台（FD-301型）を設置する
	10月	消防ポンプ自動車『BD-I型（ウインチ付き）』を栃木市消防署に配備する
昭和46年	1月	化学消防ポンプ自動車（Ⅲ型）を栃木市消防署に配備する
	4月	栃木市、藤岡町、大平町、都賀町、西方村の1市3町1村により、栃木地区広域 消防組合を発足 栃木地区広域消防組合消防本部、栃木消防署設置 （職員）定数130名、実員67名 （装備）化学車1台、小型動力ポンプ付積載車1台、ポンプ車1台、水そう付消防 ポンプ自動車3台（内予備車1）、連絡車1台、救急車2台、広報車1台、小型動 力ポンプ1台 栃木消防署藤岡分署開設
	7月	救急自動車（2B型）を栃木消防署藤岡分署に配備する
	10月	栃木消防署藤岡分署庁舎増築竣工
	12月	自動二輪（ホンダCB350E）が栃木ロータリークラブより寄贈、赤バイと命 名し栃木消防署に配備する
昭和47年	3月	はしご隊員養成のため職員8名を横浜市消防局に派遣する はしご付消防ポンプ自動車（32m級）を栃木消防署に配備する 救命索発射銃（M-3）1挺を栃木消防署に配備する
	4月	栃木消防署大平分署庁舎竣工 （職員）9名 （装備）化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）1台、救急車（2B型）1台 栃木消防署都賀分遣所竣工 （職員）8名 （装備）消防ポンプ自動車1台、救急車（2B型）1台 栃木消防署西方分遣所竣工 （職員）8名 （装備）消防ポンプ自動車1台、救急車（2B型）1台
	5月	連絡車を栃木消防署藤岡、大平分署及び都賀、西方分遣所に配備する
	10月	東北自動車道開通
	11月	東北自動車道消防相互応援協定を締結する
	12月	救急自動車（3B型）が『日本道路公団』より寄贈、栃木消防署に配備する 消防ポンプ自動車（BD-I型）を栃木消防署藤岡分署に配備する
昭和48年	2月	消防ポンプ自動車（BD-I型）を栃木消防署大平分署に配備する
	5月	連絡車を消防本部、総務課に配備する 救急自動車（2B型）を栃木消防署に配備する
昭和49年	2月	指揮車を栃木消防署に配備する

	10月	栃木地区・埼玉県加須地区消防組合の消防応援協定を締結する『北川辺町・藤岡町』
	12月	水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）を栃木消防署都賀分遣所に配備する
昭和51年	3月	栃木地区広域消防組合を解散
	4月	栃木地区広域行政事務組合設立（複合化） 栃木地区広域行政事務組合消防本部及び栃木地区広域行政事務組合栃木消防署設置
	7月	栃木市会場で栃木県・栃木市総合防災訓練が開催される
	10月	連絡車が『大川千里氏』より寄贈、消防本部警防課に配備する
昭和52年	2月	消防ポンプ自動車（CD-2型）を栃木消防署に配備する
昭和53年	3月	栃木消防署藤岡分署新庁舎竣工
	7月	査察広報車を消防本部予防課に配備する
昭和54年	8月	指揮連絡車を栃木消防署警防課に配備する 連絡車を栃木消防署大平分署、西方分遣所に配備する（更新）
昭和55年	4月	はしご付消防ポンプ自動車のオーバーホールを実施する 栃木地区・小山市と特殊災害相互応援協定を締結する
	5月	連絡車を消防本部予防課に配備する
	9月	連絡車を栃木消防署藤岡分署、都賀分遣所に配備する（更新）
	10月	栃木県救急医療情報データ通信システム端末機を設置する
	12月	救命索発射銃（M-3）1挺を栃木消防署に配備する
昭和56年	3月	救急自動車（2B型）が『社団法人日本損害保険協会』より寄贈、栃木消防署に配備する 救助工作車（II型）を栃木消防署に配備する
	5月	栃木県内の市及び町並びに一部事務組合の相互間において特殊災害消防相互応援協定を締結（4市1町10組合協定）する
	10月	栃木県防災行政無線電話、無線機及び電話機を設置する（局番48 番号616）
昭和57年	1月	水そう付消防ポンプ自動車（II型）を栃木消防署に配備する
	4月	救急自動車（2B型）を栃木消防署藤岡分署に配備する（更新）
	7月	救命索発射銃（MS-30型）1挺を栃木消防署に配備する
	9月	水そう付消防ポンプ自動車（火災保険号）が『社団法人日本損害保険協会』より寄贈、栃木消防署に配備する
昭和58年	2月	救急自動車（2B型）を栃木消防署に配備する（更新）
	11月	消防自動車（指揮連絡車）を栃木消防署に配備する（更新）
昭和59年	2月	救急自動車（2B型）を栃木消防署大平分署に配備する（更新）
	3月	救助訓練用人形1体が『財団法人自治総合センター』より寄贈、栃木消防署に配備する
	11月	救急自動車（2B型）を栃木消防署都賀分遣所、西方分遣所に配備する（更新） NTT自動応答装置10回線設備テレホンサービス開始する

12月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を栃木消防署藤岡分署に配備する（更新） 消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署大平分署に配備する（更新）
昭和60年 9月	救急自動車（2B型）を栃木消防署に配備する（更新）
10月	NTT自動応答装置5回線増設15回線の業務を開始する 消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署都賀分遣所に配備する（更新） 栃木消防署大平分署庁舎改修工事竣工 栃木消防署都賀分遣所庁舎前舗装工事竣工
昭和61年 2月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署西方分遣所に配備する（更新） 無線サイレン吹鳴装置（発信機）を通信室に設置し、大宮・国府・皆川・寺尾・吹上各出張所5カ所にサイレン、受信機を設置する
10月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署藤岡分署に配備する（更新） 栃木消防署都賀分遣所庁舎改修工事竣工
11月	化学消防ポンプ自動車（I型）を栃木消防署大平分署に配備する（更新）
12月	化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を栃木消防署に配備する（更新）
昭和62年 3月	小型動力ポンプ付積載車を栃木消防署に配備する
10月	栃木消防署西方分遣所庁舎改修工事竣工
平成 1年 2月	消防緊急情報システム（Ⅱ型）を栃木消防署に設置する（更新）
4月	栃木地区・館林地区、消防相互応援協定『板倉町・藤岡町全域』を締結する
10月	広報車が『栃木地区危険物保安協会』より寄贈、消防本部予防課に配備する
平成 2年 1月	水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）を栃木消防署都賀分遣所に配備する（更新）
4月	栃木地区・石橋地区、消防相互応援協定『栃木市・都賀町・西方町・壬生町・国分寺町の境界付近』を締結する
9月	栃木県・栃木市総合防災訓練（栃木市総合運動公園）
11月	消防用救急波無線電話機（基地局1局、移動局7局）を栃木消防署に導入配備する 広報車を栃木消防署及び栃木消防署大平分署に配備する（更新）
平成 3年 7月	広報車を栃木消防署藤岡分署、都賀、西方分遣所に配備する（更新）
平成 4年 2月	救急自動車（2B型）が『日本工業会』より寄贈、栃木消防署に配備する（更新）
3月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署に配備する（更新）
8月	定数条例の一部改正消防職員定数150名となる
平成 5年 3月	はしご付消防自動車（35m級）を栃木消防署に配備する（更新）
8月	車載兼携帯電話機『アナログ式・ショルダーホーン』を各救急自動車に（7機）配備する
11月	当消防本部で初の救急救命士国家試験合格（1名）
平成 6年 1月	救急自動車（2B型）を栃木消防署藤岡分署及び大平分署に配備する（更新）
2月	救急自動車（2B型）を栃木消防署に配備する（更新）
8月	栃木地区・鹿沼地区の消防相互応援協定を締結する
11月	救急自動車（高規格）を栃木消防署に配備する

平成 7年 11月	救急自動車（2B型）を栃木消防署都賀、西方分遣所に配備する（更新） 庁用車（普通乗用車）を消防本部に配備する
平成 8年 7月 10月	災害時における市町村相互応援に関する協定を締結する 都賀、西方分遣所を分署に改める
平成 9年 3月	救助工作車（Ⅱ型）を栃木消防署に配備する（更新） 指令車を栃木消防署に配備する
平成10年 1月 11月	水槽付消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を栃木消防署に配備する（更新） 救急自動車（高規格）を栃木消防署大平分署に配備する 心電図伝送装置を2台の高規格救急自動車に積載、受信装置を2病院に設置する 消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署大平分署に配備する（更新）
平成11年 1月 8月 10月 11月 12月	水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）を栃木消防署藤岡分署に配備する（更新） 訓練用敷地購入（1,057㎡） 広報車が『栃木地区危険物保安協会』より寄贈、消防本部予防課に配備する 栃木消防署藤岡分署庁舎改修工事 消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署都賀分署に配備する（更新）
平成12年 1月 7月 10月 11月 12月	水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を栃木消防署西方分署に配備する 北関東自動車道開通（宇都宮上三川IC～栃木都賀JCT） 栃木消防署大平分署庁舎改修工事 栃木消防署西方分署庁舎改修工事 栃木消防署都賀分署庁舎改修工事
平成13年 7月 10月	消防本部敷地購入（1,725㎡） 栃木消防署防水工事
平成14年 4月 9月	定数条例の一部改正、平成27年3月迄、消防職員定数170名となる 消防本部移転
平成15年 7月 12月	広報車を栃木消防署に配備する 救急自動車（高規格）を栃木消防署に配備する（更新） 救急自動車（高規格）を栃木消防署藤岡分署に配備する（更新）
平成16年 3月 10月	栃木消防署庁舎耐震補強工事 新潟県中越地震による被災地救援のため栃木県緊急消防援助隊として救急隊、 支援隊5名を派遣する
平成17年 2月 9月	高機能消防指令センター総合整備事業（Ⅱ型）を栃木消防署に設置する（更新） 栃木県・栃木市総合防災訓練（栃木市総合運動公園）
平成18年 3月 6月 9月	救急自動車（高規格）を栃木消防署都賀分署に配備する 栃木消防署訓練塔竣工 栃木消防署庁舎耐震補強工事（望楼撤去）
平成19年 1月	救急自動車（高規格）を栃木消防署に配備する
平成20年 1月	救急自動車（高規格）を栃木消防署西方分署に配備する

		化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）を栃木消防署に配備する（更新）
	3月	広報車を栃木消防署藤岡分署に配備する（更新）
	10月	査察広報車を消防本部予防課に配備する（更新） 広報車（軽ワゴン）が『栃木地区防火管理者協会』より寄贈、消防本部予防課に配備する
平成21年	2月	救急自動車（高規格）を栃木消防署大平分署に配備する（更新） 消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署藤岡分署に配備する（更新）
	10月	物資搬送車が『栃木地区危険物保安協会』から寄贈、消防本部予防課に配備する 広報車を栃木消防署大平分署に配備する（更新）
平成22年	2月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木消防署西方分署に配備する（更新）
	3月	構成市町が1市4町から合併により1市1町となる（栃木市、西方町）
	11月	化学消防ポンプ自動車（I型）を栃木消防署大平分署に配備する（更新） 救急自動車（高規格）を栃木消防署に配備する（更新）
平成23年	3月	東日本大震災による被災地救援のため、栃木県緊急消防援助隊として消火隊、支援隊第一次～五次隊延べ37名を岩手県に派遣する 東日本大震災による被災地救援のため、栃木県緊急消防援助隊として救急隊、支援隊第一次、三次、五次、九次隊延べ20名を福島県に派遣する
	8月	広報車を栃木消防署都賀分署に配備する（更新）
	10月	構成市町の栃木市と西方町が合併し栃木市となり、栃木市消防本部になる 栃木市消防本部及び栃木市消防署発足
平成24年	9月	広報車（ワゴン車）を栃木市消防署に配備する（更新） 広報車を栃木市消防署西方分署に配備する（更新）
	12月	救急自動車（高規格）を栃木市消防署に配備する（更新）
	10月	タブレット端末を使用したワイヤレス12誘導心電図伝送システムを栃木市消防署救急自動車に積載し、運用を開始する
平成25年	3月	災害支援車を栃木市消防署に配備する（更新）
	4月	定数条例の一部改正、消防職員定数195名となる
	8月	WiMAX及び3Gを活用した救急搬送通信システムの12誘導心電図を大平分署救急自動車に積載し、運用を開始する
	10月	消防ポンプ自動車（CD-I型）を栃木市消防署に配備する（更新）
	12月	救急自動車（高規格）を栃木市消防署藤岡分署に配備する（更新）
平成26年	3月	水そう付消防ポンプ自動車（I-B型）を栃木市消防署都賀分署に配備する（更新） 岩舟分署開設に伴う指令センター改修
	4月	栃木市・佐野市消防相互応援協定を締結する 栃木市と岩舟町が合併し、新たに岩舟町を管轄する 栃木市消防署岩舟分署開署 （職員）19名、（装備）水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）1台、救急車（高規

		格) 1台、広報車1台 消防団事務が栃木市消防本部に移管される
	11月	救急自動車(高規格)を栃木市消防署に配備する(更新)
	12月	藤岡分署車庫改修工事
平成27年	2月	非常用発電機を栃木市消防署に配備する(更新)
	3月	栃木市消防本部消防力適正配置調査完了 消防救急デジタル無線晃石山基地局竣工(活動波整備) 消防救急無線デジタル化に伴う指令システム改修 栃木市消防団本部車を栃木市消防本部に配備する
	6月	広報車(消防団本部車)が「中村和男氏」より寄贈、消防本部消防総務課に 配備する
	9月	平成27年9月関東・東北豪雨災害
	12月	指揮車を栃木市消防署に配備する 救急自動車(高規格)を栃木市消防署岩舟分署に配備する(更新)
平成28年	1月	消防ポンプ自動車(CD-1型)を栃木市消防署岩舟分署に配備する
	3月	非常用発電機を大平分署に配備する
	7月	水上バイクを藤岡分署に配備する ボートトレーラーを大平分署に配備する
	10月	緊急消防援助隊関東ブロック合同訓練を実施する 藤岡分署救命ボート格納庫竣工
	11月	はしご付消防自動車(35m級)を栃木市消防署に配備する(更新)
平成29年	2月	第1回栃木市消防フェア開催
	3月	栃木市消防署車庫増築工事竣工 非常用発電機を西方分署に配備する
	10月	非常用発電機を藤岡分署に配備する
	12月	救急自動車(高規格)を栃木市消防署都賀分署に配備する(更新) 栃木市消防庁舎整備基本構想策定
平成30年	1月	第2回栃木市消防フェア開催
	3月	救助工作車(Ⅲ型)を栃木市消防署に配備する(更新) 高機能消防指令センター通信制御システム更新
	4月	定数条例の一部改正、消防職員定数204名となる
	12月	救急自動車(高規格)を栃木市消防署西方分署に配備する(更新)
平成31年	2月	栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備基本計画策定 第3回栃木市消防フェア開催
	4月	栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備基本計画策定
令和1年	10月	令和元年東日本台風(台風19号)災害
令和1年	11月	救急自動車(高規格)を栃木市消防署大平分署に配備する(更新)

	1 2月	広報車（消防団本部車）が「日本消防協会」より寄贈、消防本部消防総務課に 配備する
令和 2年	1月	栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備用地取得
	2月	広報車（ワゴン車）が『栃木地区危険物保守協会及び栃木地区防火管理者協会』 より寄贈、消防本部予防課に配備する（更新）
	3月	栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備基本設計策定 広報車（ワゴン車）を栃木市消防署に配備する（更新）
	4月	新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、隔日勤務者へ期限付三交替制を 導入
	1 1月	救急自動車（高規格）を栃木市消防署に配備する（更新）
令和 3年	3月	水そう付消防ポンプ自動車（I-B型）を栃木市消防署に配備する（更新） 栃木市消防本部・栃木市消防署庁舎整備実施設計策定
	7月	静岡県熱海市土石流災害による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊として 消防隊、支援隊第一次～三次隊延べ18名を静岡県に派遣する
	1 1月	栃木市消防本部・栃木市消防署資機材倉庫兼備蓄倉庫竣工
	1 2月	救急自動車（高規格）を栃木市消防署に配備する（更新）
令和 4年	2月	消防ポンプ自動車（CD-1型）を栃木市消防署大平分署に配備する（更新）
	3月	栃木市消防本部別館倉庫等解体工事 栃木市消防本部・栃木市消防署新庁舎着工
	1 2月	栃木県・栃木市総合防災訓練（栃木市総合運動公園）
令和 5年	2月	水そう付消防ポンプ自動車（I-B型）を栃木市消防署藤岡分署に配備する（更新） （仮称）栃木市消防署都賀・西方分署庁舎整備基本計画策定
	8月	栃木市消防本部・栃木市消防署新庁舎竣工 （9月4日から3階部分（消防総務課、予防課、警防課）供用開始）
	1 1月	救急自動車（高規格）を栃木市消防署藤岡分署に配備する（更新）
	1 2月	栃木市消防本部別館解体工事
令和 6年	3月	（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備基本設計策定
	6月	栃木市消防本部・栃木市消防署第2出動車両車庫竣工 （7月3日から新庁舎1、2階部分（栃木市消防署、通信指令課）供用開始） （仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備用地取得
	1 1月	救急自動車（高規格）を栃木市消防署に配備する（更新）
令和 7年	1月	栃木市消防本部・栃木市消防署旧庁舎解体工事 第4回栃木市消防フェア開催
	3月	（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備実施設計策定 岩手県大船渡市の林野火災による被災地救援のため、緊急消防援助隊栃木県隊とし て消防隊、支援隊第一次～六次隊延べ48名を岩手県に派遣する
	7月	訓練塔副塔工事の竣工により、消防本部・消防署の全ての工事が完了

	11月	(仮称) 栃木市消防署北部分署庁舎に伴う農業集落排水管布設工事
	12月	救急自動車(高規格)を栃木市消防署岩舟分署に配備する(更新)
令和 8年	1月	第5回栃木市消防フェア開催
	2月	(仮称) 栃木市消防署北部分署庁舎に伴う造成工事

消防総務課関係



栃木市消防本部・消防署新庁舎

面積・世帯数・人口・人口密度

令和8年4月1日現在

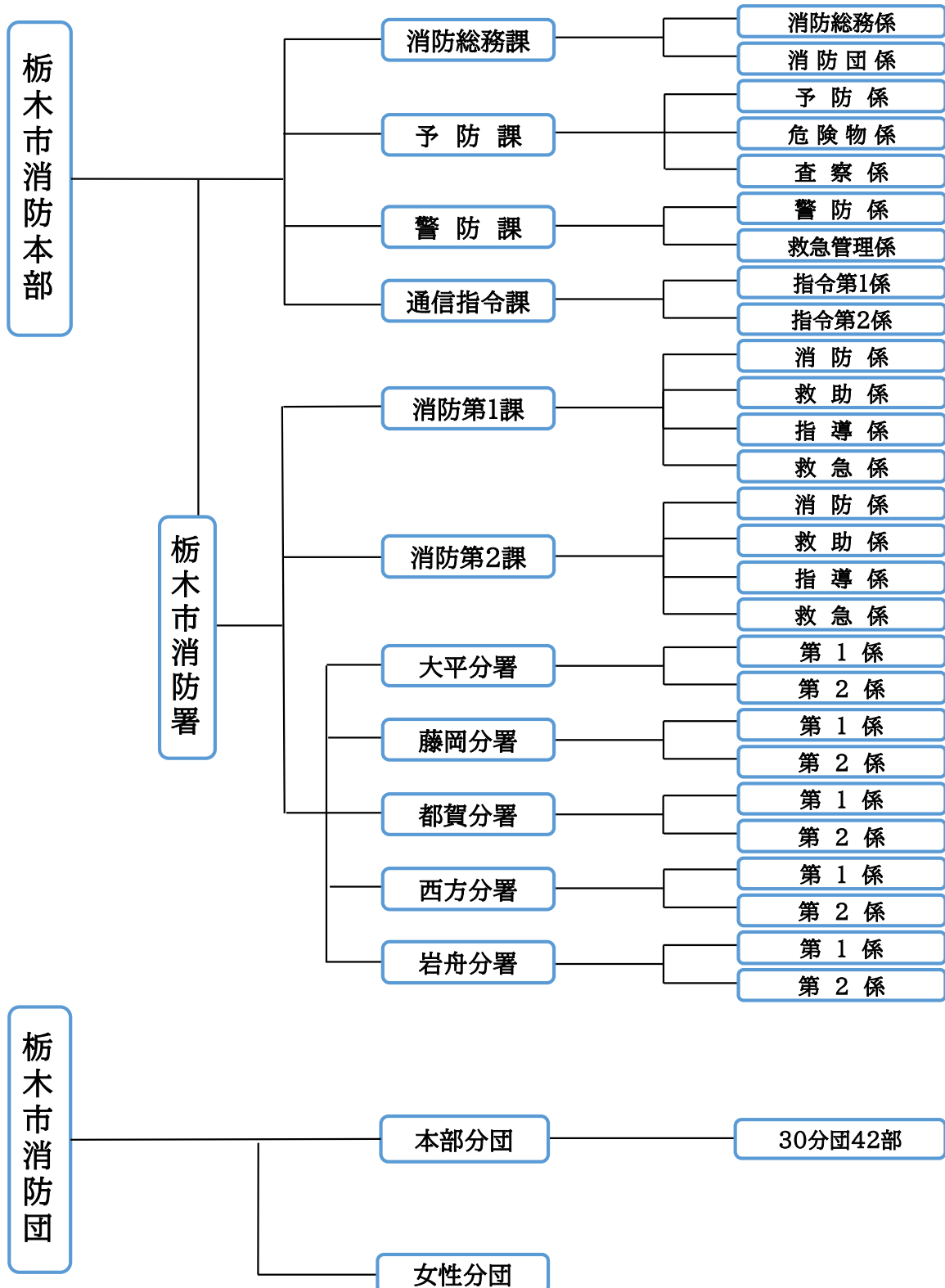
区分	面積(km ²)	世帯数(世帯)	人口(人)	人口密度(人/km ²)	国勢調査人口 令和2年10月(人)
栃木市	331.5	68,690	151,170	456.0	155,549

管内人口の推移

種別 年別	世帯数(世帯)	人口(人)	人口密度(人/km ²)
平成29年	64,317	162,520	490.3
平成30年	65,068	161,836	488.2
平成31年(令和元年)	65,620	160,775	485.0
令和 2年	65,764	159,295	480.5
令和 3年	66,185	157,929	476.4
令和 4年	66,188	156,301	471.5
令和 5年	66,879	155,281	468.4
令和 6年	67,394	153,828	464.0
令和 7年	67,981	152,355	459.6
令和 8年	68,690	151,170	456.0
消防吏員1人に対して (令和8年)	346.9	763.5	

消防組織図

令和8年4月1日現在



消防職員の定数及び実員

令和8年4月1日現在(人) (再任用職員含む)

階級 区分	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計
定数	階級別定員なし								204
実員	1	9	34	50	50	13	41	5	203

消防職員配置状況

令和8年4月1日現在(人)

階級別 所属別	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計	摘要
消防本部	消防長	1							1	
	次長		1						1	
	消防総務課		1						1	
	消防総務係			3	1	2	1		7	
	消防団係		1	1				3	5	その他の職員(栃木市役所より派遣)
	その他				2				2	消防防災航空隊派遣1名、市長部局任用1名
	予防課		1						1	
	予防係			1	3	1			5	
	危険物係			1	1	1			3	
	査察係			1		1			2	
	警防課		1						1	
	警防係			2			1		3	
	救急管理係			1		1		1	3	再任用1名
	通信指令課		1						1	
	指令第1係			1	2	2	1		6	
指令第2係			2	1	2	1		6		
計	1	6	13	8	12	4		4	48	
消防署	署長		1						1	
	副署長		2						2	消防第1課長兼務、消防第2課長兼務
	消防第1課		(1)	1					2	
	消防係			1	1	2		4	8	
	救助係				3	1		2	6	
	指導係			1	2	2		2	8	再任用1名
	救急係				3	2		2	7	
	消防第2課		(1)	1					2	
	消防係			1		2		5	8	
	救助係				3	2		2	7	
	指導係			1	2	2		2	7	
	救急係				4	2	1	1	8	
	大平分署			4	6	6	2	2	20	
	藤岡分署			4	6	5		5	20	
	都賀分署			2	4	2	4	2	14	
西方分署			2	4	4	1	3	14		
岩舟分署			3	4	6	1	6	20		
計		3	21	42	38	9	38	1	152	
研修職員							3	3	3	県消防学校入校(消防総務課付)
合計	1	9	34	50	50	13	41	5	203	

()兼任者数[内数]

消防職員の年齢

令和8年4月1日現在(人) ※再任用職員含む

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計	構成比
18 歳							1		1	
19 歳							1		1	
20 歳							1		1	
21 歳							3		3	
22 歳							6 (1)		6 (1)	
23 歳							1		1	
24 歳							8 (1)		8 (1)	
25 歳							4 (1)		4 (1)	
26 歳							5		5	
27 歳							4		4	
28 歳						2	3		5	
29 歳						3	2	1	6	
30 歳					3	3	2		8	
31 歳					8	3 (1)			11 (1)	
32 歳					2	1			3	
33 歳					3				3	
34 歳					10 (2)	1			11 (2)	
35 歳					10			1	11	
36 歳				2	4				6	
37 歳					4				4	
38 歳				1	4				5	
39 歳				4	2			1	7	
40 歳				9					9	
41 歳				5					5	
42 歳				5					5	
43 歳				4					4	
44 歳				3					3	
45 歳				3					3	
46 歳				5					5	
47 歳			1	3					4	
48 歳			1	2					3	
49 歳			4	2					6	
50 歳			5						5	
51 歳			4						4	
52 歳			10						10	
53 歳		1	3	1					5	
54 歳			3	1					4	
55 歳		1	1						2	
56 歳		2	1						3	
57 歳		3							3	
58 歳		2							2	
59 歳	1								1	
60 年			1						1	
61 歳								2	2	
62 歳										
63 歳										
64 歳										
65 歳										
計	1	9	34	50	50 (2)	13 (1)	41 (3)	5	203 (6)	
平均年齢	59.0	56.3	51.7	43.0	34.3	30.2	24.6	45.0	38.5	

()女性職員[内数]

消防職員勤続年数

令和8年4月1日現在(人) ※再任用職員含む

階級 年齢	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他の職員	計	構成比
1年未満							3		3	
1年							4		4	
2年							4 (1)		4 (1)	
3年							4		4	
4年							7 (1)		7 (1)	
5年							5		5	
6年							8 (1)		8 (1)	
7年							6	1	7	
8年						4			4	
9年						2			2	
10年						5		1	6	
11年					10	2 (1)			12 (1)	
12年					13				13	
13年					13 (1)			1	14 (1)	
14年					8 (1)				8 (1)	
15年					6				6	
16年				6					6	
17年				3					3	
18年				5					5	
19年				5					5	
20年				6					6	
21年				4					4	
22年				6					6	
23年				5					5	
24年				3					3	
25年			1	4					5	
26年			3	1					4	
27年			2						2	
28年			1						1	
29年			2	2					4	
30年			6						6	
31年			4						4	
32年			5						5	
33年			4						4	
34年			3						3	
35年		2	2						4	
36年										
37年		2							2	
38年		2	1						3	
39年		2							2	
40年		1							1	
41年	1								1	
42年										
43年								2	2	
44年										
45年										
46年										
計	1	9	34	50	50 (2)	13 (1)	41 (3)	5	203 (6)	
平均勤続年数	41.0	37.6	30.9	20.8	12.7	9.4	4.1	23.2	17.3	

()女性職員[内数]

消防庁舎所在地及び構造等

令和8年4月1日現在(m²)

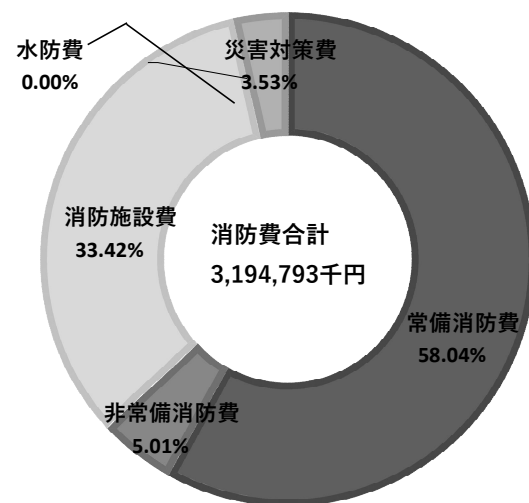
区分	所在地	敷地面積	構造	1階床面積	2階床面積	3階床面積	延床面積
消防本部 栃木市消防署	栃木市平柳町 1-34-5	6,685	鉄筋コンクリート造 3階建	1,450	1,020	1,056	3,556
大平分署	栃木市大平町 蔵井2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤岡分署	栃木市藤岡町 藤岡81-2	1,312	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造2階建	266	104		370
都賀分署	栃木市都賀町 大柿1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西方分署	栃木市西方町 金井293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289
岩舟分署	栃木市岩舟町 静5133-1	3,320	鉄骨造2階建	507	272		779

栃木市の予算と消防予算(令和8年度当初予算)

区分 年度	一般会計予算(千円)	消防予算(千円)	一般会計比率(%)
令和8年度	76,990,000	3,194,793	4.1

令和8年度消防予算(内訳)

項目	予算額(千円)
1. 常備消防費	1,854,354
2. 非常備消防費	160,049
3. 消防施設費	1,067,644
4. 水防費	50
5. 災害対策費	112,696



職員資格取得状況

令和8年4月1日現在(人)

資格			取得者数	資格	取得者数	
自動車運転免許	大型	第1種	165	毒物劇物取扱者		2
		第2種	2	防災士		17
	中型	第1種	100	予防技術資格者	防火査察	68
		第2種	20		消防用設備	33
	準中型		58		危険物	41
	普通	第1種	85	小型船舶操縦者(1級、2級、特殊 計)		92
		第2種	4	衛生管理者(1種、2種 計)		18
危険物取扱者	甲種		4	救急救命士		59
	乙種	1類	17	陸上特殊無線技士	第1級	13
		2類	18		第2級	193
		3類	18	高圧ガス製造保安責任者		3
		4類	78	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者		65
		5類	20	特定化学物質等作業主任者		6
		6類	20	電気工事士		17
	丙種		4	高所作業車		9
消防設備士	甲種	1類	7	アーク溶接技能講習		11
		2類	2	玉掛技能講習		58
		4類	6	小型移動式クレーン技能講習		59
		5類	5	フォークリフト技能者		5
	乙種	4類	3	二等無人航空機操縦士		9
		6類	19	ガス溶接技能講習		21
		7類	3	潜水士		73

職員教育実施状況

令和7年度実績(人)

栃木県消防学校	初任教育		4	
	専科教育	救急科		3
		救助科		3
		特殊災害科		2
		警防科		3
		予防査察科		3
		危険物科		2
	特別教育	水難救助科		2
	幹部教育	初級幹部科		2
		中級幹部科		2
消防大学校	専科教育	危険物科		1
	その他	査察マネジメントコース		1

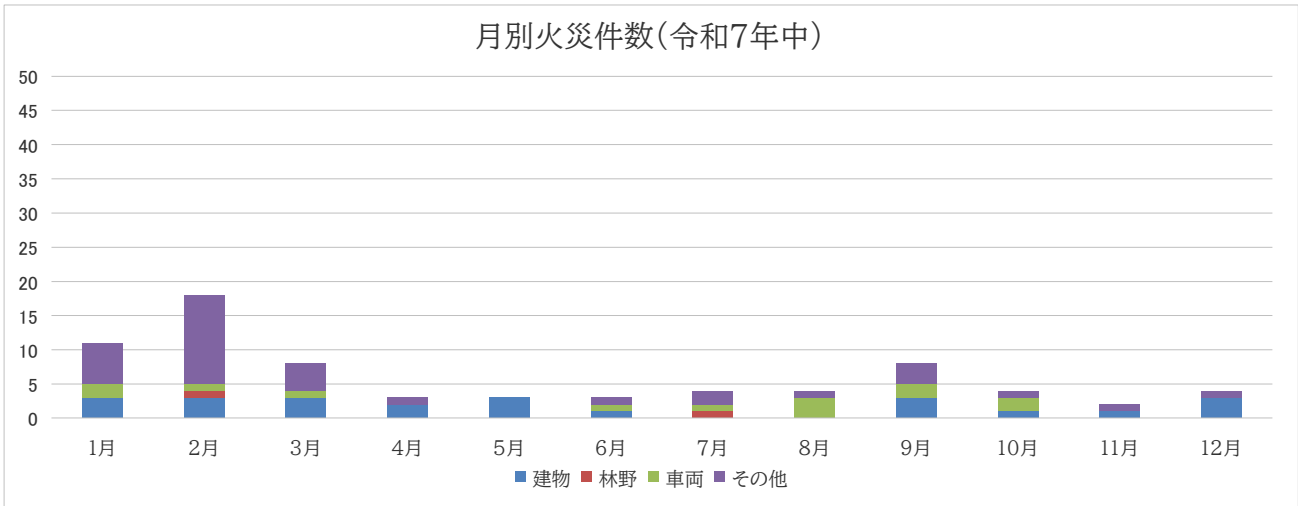
予防課関係

月別火災発生状況

令和7年中(件)

区分 月別	件数	火災種別				焼損棟数				り災世帯数			り災人員	死傷者		焼損面積			損害額(千円)					
		建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損		建物(m ²)		林野(a)	建物	林野	車両	その他	爆発	合計		
														床面積	表面積									
1月	11	3		2	6				3									1		60	4		65	
2月	18	3	1	1	13	2	2				1		2	1		601	5	21	103,779		415	246	104,440	
3月	8	3		1	4			1	2			2	5		1		26		756		1,104		1,860	
4月	3	2			1	2			4			1	3			157	1		852			169	1,021	
5月	3	3						1	2			3	4			16			674				674	
6月	3	1		1	1				1			1	2					3		48	109		160	
7月	4		1	1	2													1		280	410		690	
8月	4			3	1				1										50		309		359	
9月	8	3		2	3	1		1	1							12			1,900		2,446		4,346	
10月	4	1		2	1			1									5		273		550		823	
11月	2	1			1				1			1	1		1				15			18	33	
12月	4	3			1	1	1	2							1	117	15		4,714				4,714	
計	72	23	2	13	34	6	3	6	15	0	1	8	17	1	3	903	52	22	113,017	0	5,212	956	0	119,185
栃木地域	24	7	1	8	8		1	1	6			4	6			255		1	96,774		3,351	295	100,420	
大平地域	10	5		1	4			3	2			1	1			6	26		1,102		50	109	1,261	
藤岡地域	15	3	1	1	10			1	5			1	3				6	21	647		1,304	173	2,124	
都賀地域	8	2		2	4	1	1	1						1	2	115	15		4,402		280	379	5,061	
西方地域	6	2		1	3	2			1			1	3			157			569		12		581	
岩舟地域	9	4			5	3	1		1		1	1	4		1	370	5		9,523		215		9,738	

月別火災件数(令和7年中)

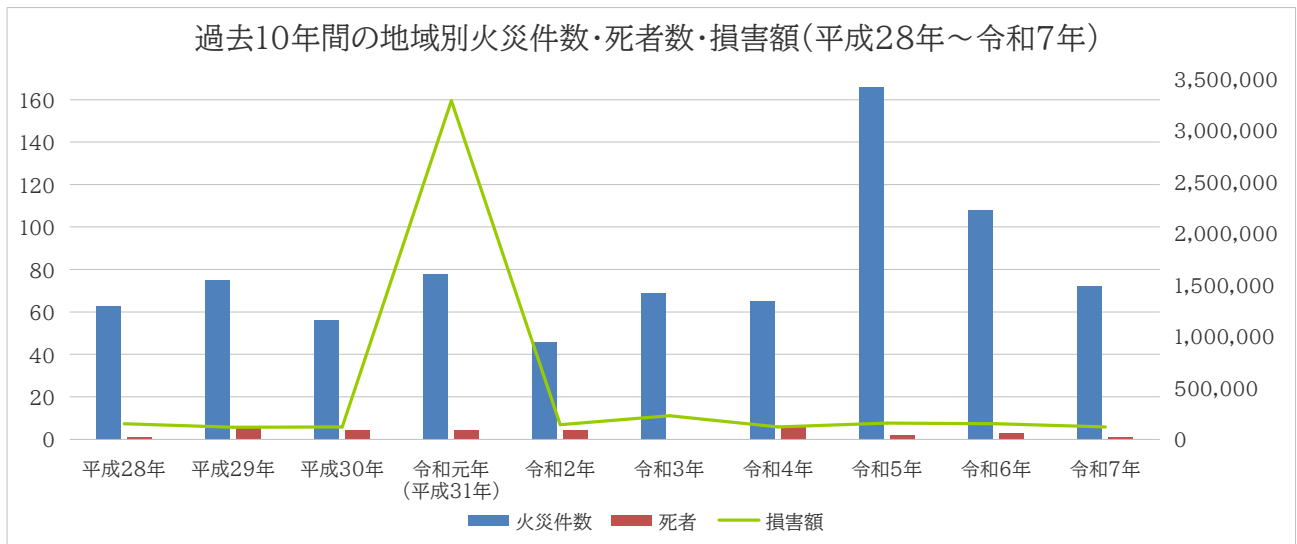


過去10年間の地域別火災件数・死者数・損害額

(件・人・千円)

地域別 (火災/死者/損害)	年別										
	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年 (平成31年)	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
栃木地域	火災件数	22	26	19	28	13	21	23	74	70	24
	死者	0	3	1	1	3	0	2	1	2	0
	損害額	103,891	55,468	71,649	132,963	69,760	37,250	37,144	29,414	126,624	100,420
大平地域	火災件数	11	17	18	14	10	16	13	46	13	10
	死者	0	0	0	0	1	0	1	1	0	0
	損害額	21,222	26,751	15,545	2,741,237	57,190	113,581	4,087	29,947	1,378	1,261
藤岡地域	火災件数	10	10	5	10	14	15	8	23	12	15
	死者	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0
	損害額	299	900	0	42,958	9,314	8,258	32,729	8,426	9,686	2,124
都賀地域	火災件数	7	5	5	7	4	7	5	3	5	8
	死者	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	損害額	4,119	9,627	7,756	49,037	3,552	36,375	517	18,796	11,321	5,061
西方地域	火災件数	6	1	2	4	0	1	2	3	1	6
	死者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	損害額	18,565	617	23,122	263,280	0	10,193	200	59,945	0	581
岩舟地域	火災件数	7	16	7	15	5	9	14	17	7	9
	死者	0	0	2	2	0	0	2	0	1	0
	損害額	3,595	22,940	1,156	55,462	423	21,752	43,437	7,975	1,532	9,738
合計	火災件数	63	75	56	78	46	69	65	166	108	72
	死者	1	5	4	4	4	0	6	2	3	1
	損害額	151,691	116,303	119,228	3,284,937	140,239	227,409	118,114	154,503	150,541	119,185

過去10年間の地域別火災件数・死者数・損害額(平成28年～令和7年)

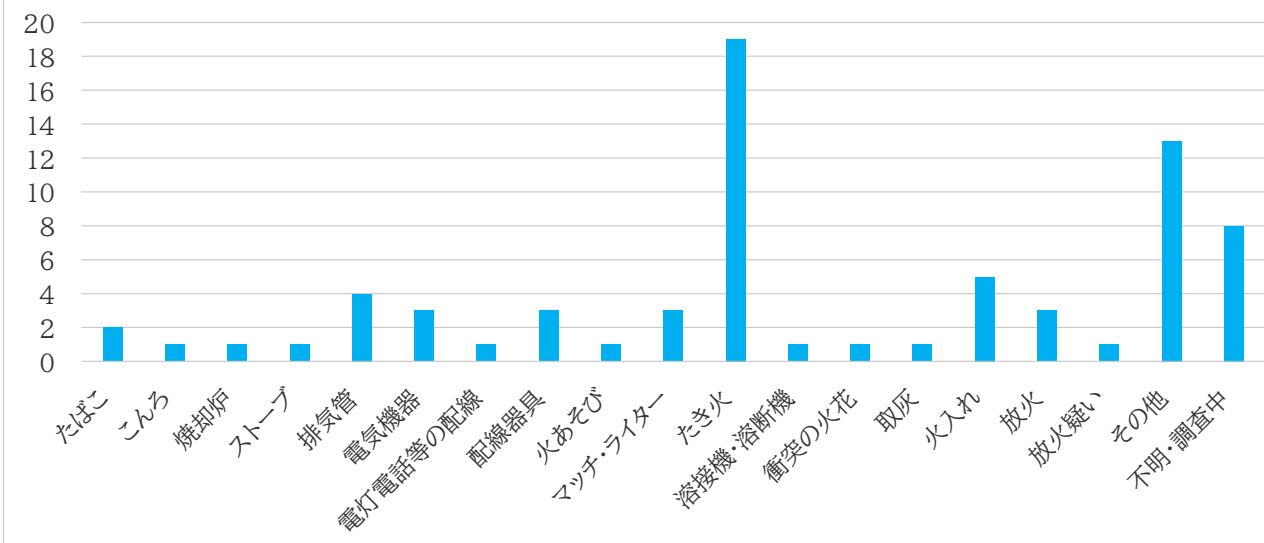


原因別火災件数

令和7年中(件)

原因・損害	地域別						計
	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	
たばこ	1				1		2
こんろ						1	1
焼却炉	1						1
ストーブ					1		1
排気管	4						4
電気機器		2	1				3
電灯電話等の配線						1	1
配線器具	2			1			3
火あそび		1					1
マッチ・ライター			1	2			3
たき火	4	3	5	2		5	19
溶接機・溶断機	1						1
衝突の火花	1						1
取灰				1			1
火入れ	1		2		1	1	5
放火	2			1			3
放火疑い			1				1
その他	6	3	2	1	1		13
不明・調査中	1	1	3		2	1	8
計	24	10	15	8	6	9	72
前年計	70	13	12	5	1	7	108
本年損害額(千円)	100,420	1,261	2,124	5,061	581	9,738	119,185
前年損害額(千円)	126,624	1,378	9,686	11,321	0	1,532	150,541

原因別火災件数(令和7年中)



消防同意処理状況
(150㎡以上)

令和7年中(件)

項 別		年 別					
		令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	
1	イ	劇場等					1
	ロ	公会堂等	3			2	
2	イ	キャバレー等					
	ロ	遊技場等				1	
	ハ	性風俗施設					
	ニ	カラオケボックス等					
3	イ	料理店等					
	ロ	飲食店			1	1	
4		物品販売店舗等	8	6	1	7	7
5	イ	旅館・ホテル等		1	1		
	ロ	共同住宅	10	15	3	4	2
6	イ	病院等	1	2		2	3
	ロ	老人短期入所施設等	2	3	1		1
	ハ	老人デイサービスセンター等	4	4	3	3	2
	ニ	幼稚園等					
7		学校		2		1	
8		図書館等					
9	イ	特殊浴場					
	ロ	公衆浴場					
10		停車場等					
11		神社・寺院等		1		1	
12	イ	工場・作業場	12	17	10	6	9
	ロ	スタジオ					
13	イ	駐車場等	1				
	ロ	航空機格納庫					
14		倉庫	17	13	7	9	14
15		事務所等	6	10	15	11	6
16	イ	特定複合用途	6	3	4	2	3
	ロ	非特定複合用途	4	3	1	1	
17		文化財					
計			74	80	47	51	48

その他の消防 同意処理状況	住 宅	23	28	37	25	19
	そ の 他	116	72	58	97	92
計		139	100	95	122	111

防火対象物別立入検査実施状況

令和7年中(件)

項 別		地 域 別						計	
		栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域		
1	イ	劇場等					3	3	
	ロ	公会堂等						0	
2	イ	キャバレー等						0	
	ロ	遊技場等					1	1	
	ハ	性風俗施設						0	
	ニ	カラオケボックス等						0	
3	イ	料理店等						0	
	ロ	飲食店	6	1		2	1	10	
4		物品販売店舗等	4	6	1	3	3	17	
5	イ	旅館・ホテル等		46	1		1	30	78
	ロ	共同住宅					1	1	
6	イ	病院等	5				1	6	
	ロ	老人短期入所施設等	1	1			2	4	
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	2		1		4	
	ニ	幼稚園等						0	
7		学校	2			2		4	
8		図書館等						0	
9	イ	特殊浴場						0	
	ロ	公衆浴場						0	
10		停車場等						0	
11		神社・寺院等						0	
12	イ	工場・作業場		1	9	3	1	15	29
	ロ	スタジオ							0
13	イ	駐車場等						0	
	ロ	航空機格納庫						0	
14		倉庫	1	2		3	13	19	
15		事務所等	2			3	6	11	
16	イ	特定複合用途	4	2		1	2	9	
	ロ	非特定複合用途						0	
17		文化財			2		1	4	7
計			26	61	13	18	3	82	203
一人暮らし高齢者宅防火診断			5	4	6	5	2	5	27
危険物施設(製造所等)			20	31	9	10	4	10	84

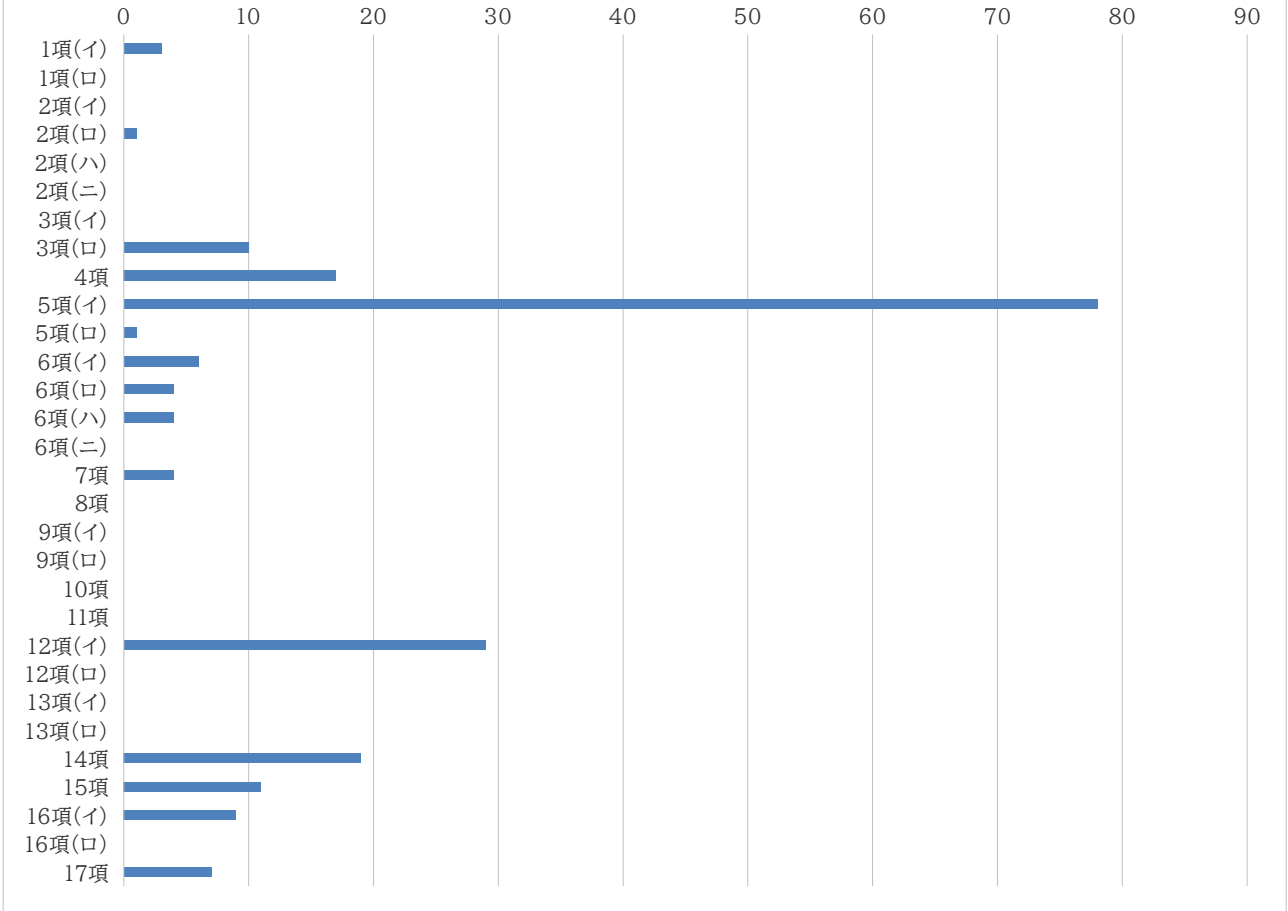
防火対象物別消防訓練実施状況

令和7年中(件)

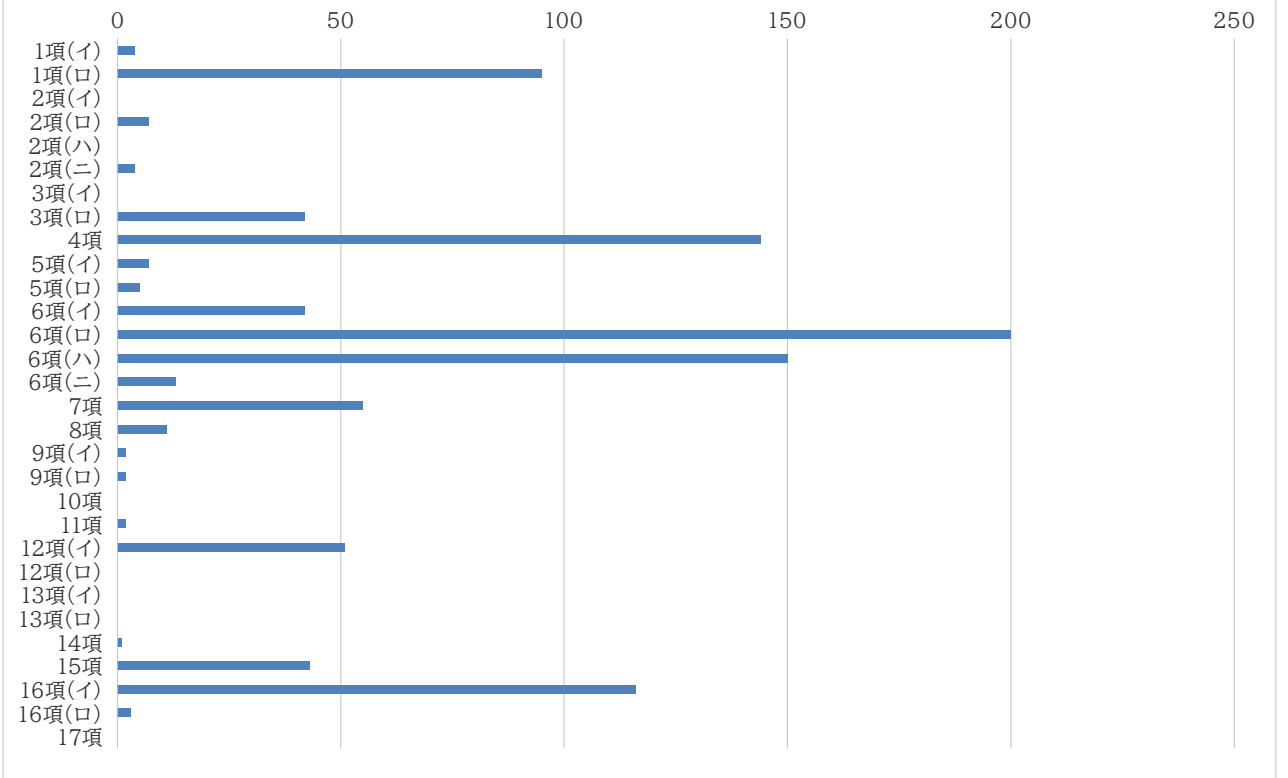
項 別		地 域 別						計	
		栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域		
1	イ	劇場等	2	2				4	
	ロ	公会堂等	35	22	19	6	2	11	95
2	イ	キャバレー等							0
	ロ	遊技場等	6					1	7
	ハ	性風俗施設							0
	ニ	カラオケボックス等	4(2)						4
3	イ	料理店等							0
	ロ	飲食店	31	4			2	5	42
4		物品販売店舗等	84	27	12	3	4	14	144
5	イ	旅館・ホテル等	2	1	2			2	7
	ロ	共同住宅	3	1				1	5
6	イ	病院等	12(1)	16(2)	3(1)	2	3(1)	6	42
	ロ	老人短期入所施設等	95(7)	15(6)	21	16	6	47(9)	200
	ハ	老人デイサービスセンター等	72(9)	20(9)	24(3)	19(3)	2(1)	13(5)	150
	ニ	幼稚園等	8(2)	2(1)				3(1)	13
7		学校	23(14)	9(3)	10(3)	3(1)	5(3)	5(2)	55
8		図書館等	5(1)	3	3				11
9	イ	特殊浴場	2						2
	ロ	公衆浴場					2		2
10		停車場等							0
11		神社・寺院等	1	1					2
12	イ	工場・作業場	21(1)	7(1)	3(1)	2(2)	9(1)	9(2)	51
	ロ	スタジオ							0
13	イ	駐車場等							0
	ロ	航空機格納庫							0
14		倉庫	1						1
15		事務所等	16(7)	4(2)	6	8	1	8(2)	43
16	イ	特定複合用途	72(6)	19(3)	5(1)	8	6	6(3)	116
	ロ	非特定複合用途	1		1		1		3
17		文化財							0
計			496	153	109	67	43	131	999

※数値は消防訓練実施結果報告書を受理した総件数、()は総件数のうち職員が消防訓練に出向した件数

防火対象物別立入検査実施状況(令和7年中)



防火対象物別消防訓練実施状況(令和7年中)



危険物製造所等施設数

令和8年4月1日現在

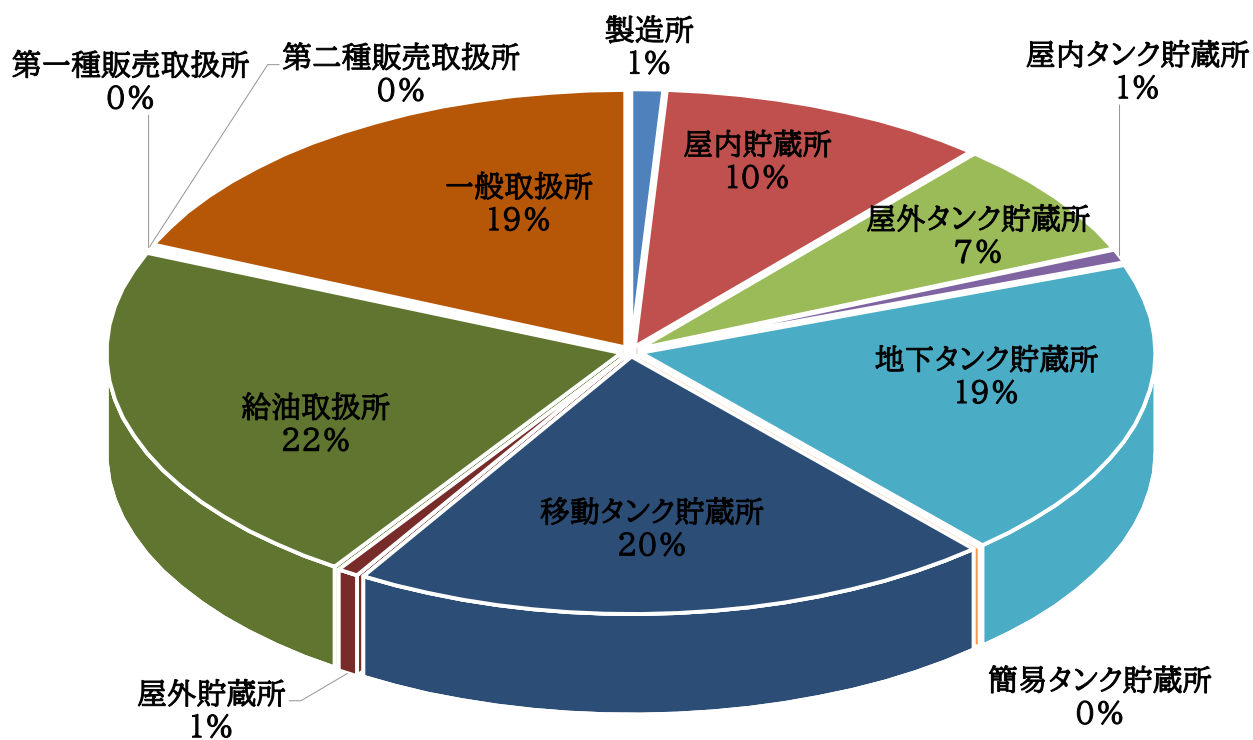
製造所等の別	合計	製造所	貯蔵所							取扱所			
			屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所	第一種販売取扱所	第二種販売取扱所	一般取扱所
施設数	601	6	62	44	5	114	0	122	4	132	1	0	111

地域別危険物施設数

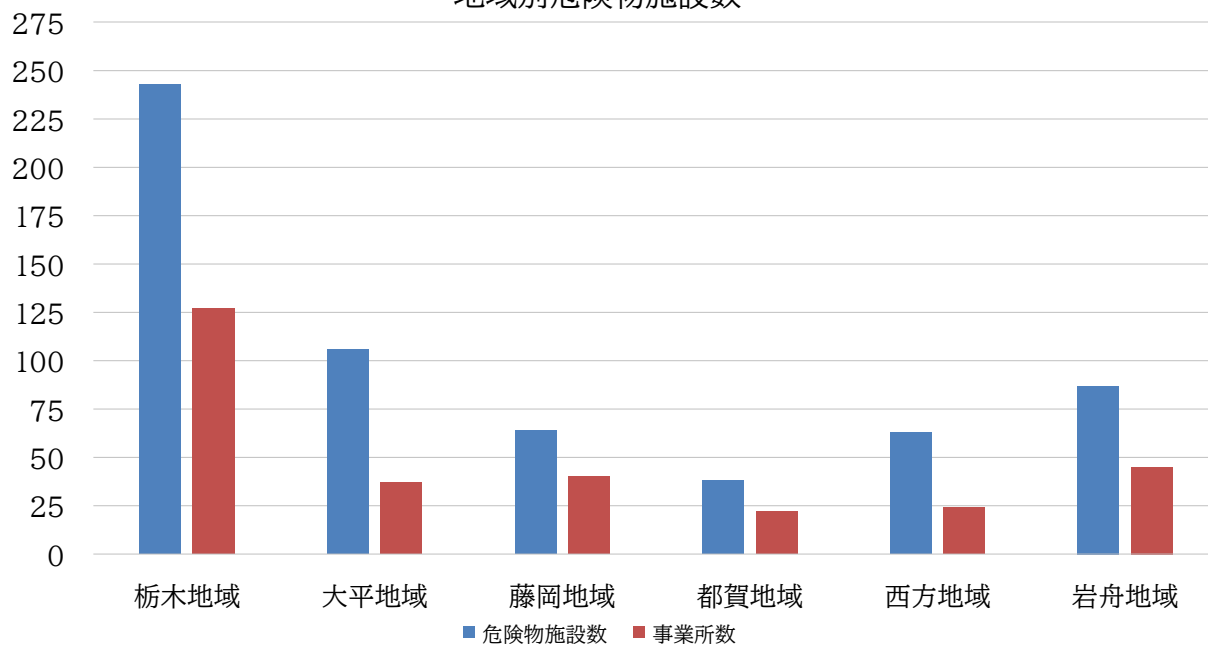
令和8年4月1日現在

地域別 施設区分		栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
		製造所	1	1			3	1
貯蔵所	屋内貯蔵所	21	13	11	5	5	7	62
	屋外タンク貯蔵所	17	8			12	7	44
	屋内タンク貯蔵所	2	1		1		1	5
	地下タンク貯蔵所	54	18	11	12	11	8	114
	簡易タンク貯蔵所							0
	移動タンク貯蔵所	45	24	12	3	15	23	122
	屋外貯蔵所	1	3					4
小計	140	67	34	21	43	46	351	
取扱所	給油取扱所	62	13	20	9	6	22	132
	第1種販売取扱所	1						1
	第2種販売取扱所							0
	一般取扱所	39	25	10	8	11	18	111
	小計	102	38	30	17	17	40	244
合計	243	106	64	38	63	87	601	
事業所数	127	37	40	22	24	45	295	

危険物製造所等施設数



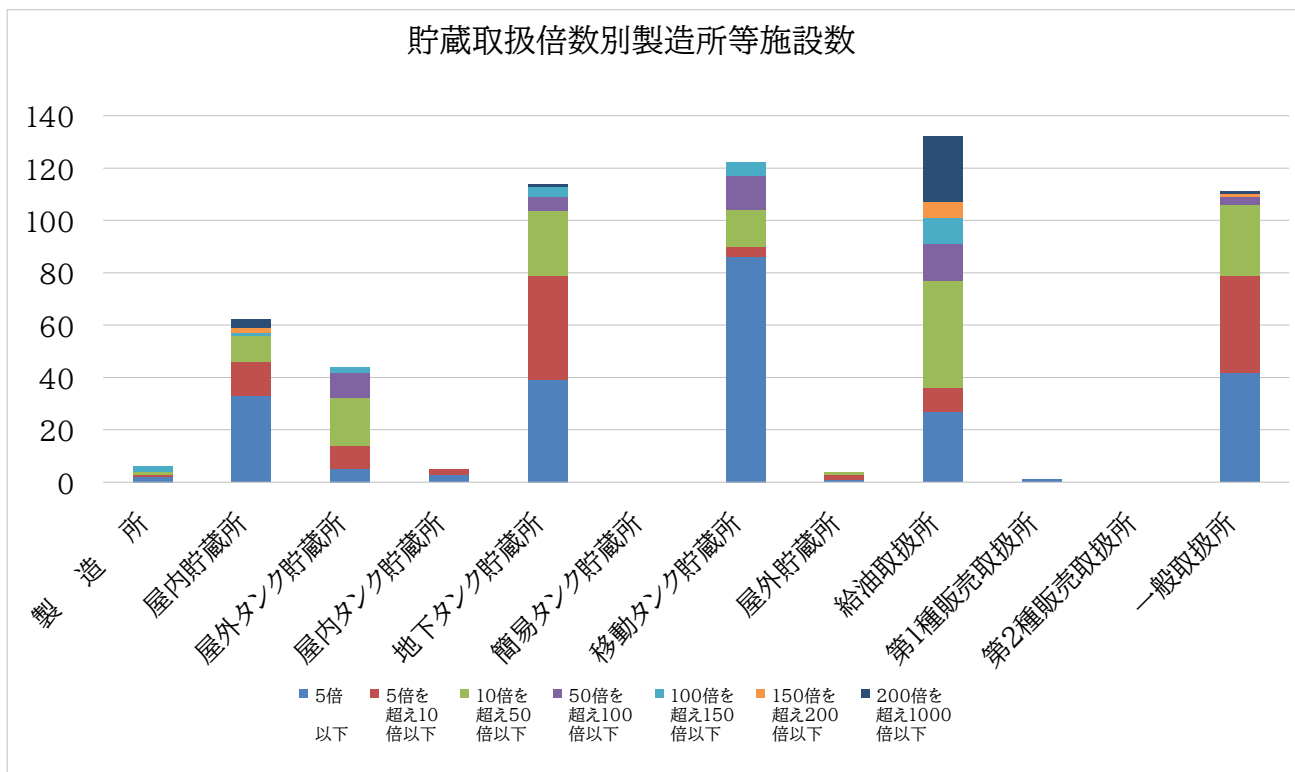
地域別危険物施設数



貯蔵取扱倍数別製造所等施設数

令和8年4月1日現在

製造所等別		倍数別							
		合計	5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超え1000倍以下
総計		601	239	117	137	45	24	9	30
製造所		6	2	1	1		2		
貯蔵所	屋内貯蔵所	62	33	13	10		1	2	3
	屋外タンク貯蔵所	44	5	9	18	10	2		
	屋内タンク貯蔵所	5	3	2					
	地下タンク貯蔵所	114	39	40	25	5	4		1
	簡易タンク貯蔵所	0							
	移動タンク貯蔵所	122	86	4	14	13	5		
	屋外貯蔵所	4	1	2	1				
	小計	351	167	70	68	28	12	2	4
取扱所	給油取扱所	132	27	9	41	14	10	6	25
	第1種販売取扱所	1	1						
	第2種販売取扱所	0							
	一般取扱所	111	42	37	27	3		1	1
	小計	244	70	46	68	17	10	7	26



警防課関係



令和7年配備 災害対応特殊救急自動車

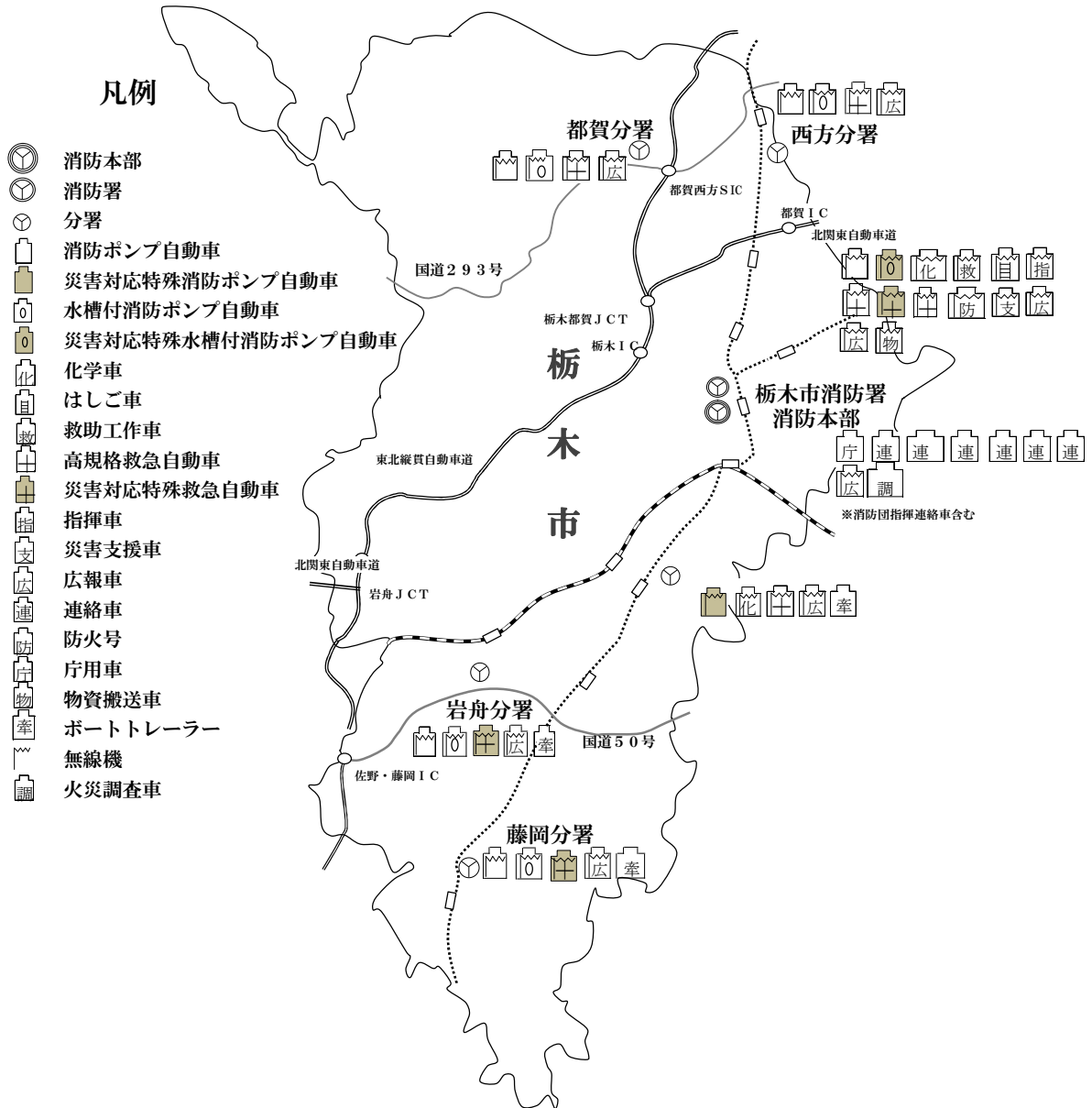
消防車両等の現勢

令和8年4月1日現在

区分 所属別	種 別	車両メーカー	年式	使用 年数	備 考
消防本部	本 部 庁 用 車	トヨタ	H 2 4	14	
	総 務 連 絡 車	トヨタ	H 1 0	28	
	査 察 広 報 車	トヨタ	H 2 0	18	
	予 防 連 絡 車	スズキ	H 2 0	18	
	警 防 連 絡 車	トヨタ	H 1 0	28	
	火 災 調 査 車	トヨタ	R 2	6	
栃 木 市 消 防 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 2 5	13	水槽600ℓ (C A F S装置付)、CD-I型
	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車	日野	R 3	5	水槽2,000ℓ、I-B型
	化 学 車	日野	H 1 9	19	水槽1,500ℓ、薬液500ℓ、II型
	は し ご 付 消 防 自 動 車	日野	H 2 8	10	35m級 (先端屈折、伸縮水管付)
	救 助 工 作 車	日野	H 3 0	8	クレーン、ウインチ、照明装置付、III型
	災 害 支 援 車	いすゞ	H 2 5	13	
	指 揮 車	トヨタ	H 2 7	11	
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	R 3	5	
	災 害 対 応 特 殊 救 急 自 動 車	トヨタ	R 6	2	
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	R 2	6	
	広 報 車	トヨタ	H 1 5	23	
	広 報 車	日産	R 2	6	
	防 火 号	日産	H 2 4	14	
	物 資 搬 送 車	マツダ	H 2 1	17	
消 防 連 絡 車	トヨタ	H 1 5	23		
大 平 分 署	災害対応特殊消防ポンプ自動車	日野	R 3	5	水槽600ℓ (C A F S装置付)、CD-I型
	化 学 車	日野	H 2 2	18	水槽1,500ℓ、薬液300ℓ、I型
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	R元	7	
	広 報 車	トヨタ	H 2 1	17	
	ポ ー ト ト レ ー ラ ー	ソレックス	H 2 8	10	最大積載量400kg
藤 岡 分 署	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 2 0	18	CD-I型
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	日野	R 5	3	水槽1,500ℓ (C A F S装置付)、I-B型
	災 害 対 応 特 殊 救 急 自 動 車	トヨタ	R 5	3	
	広 報 車	トヨタ	H 2 0	18	
都 賀 分 署	ポ ー ト ト レ ー ラ ー	ソレックス	H 2 8	10	最大積載量350kg
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 1 1	27	CD-I型
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 2 5	13	水槽1,500ℓ (C A F S装置付)、I-B型
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	H 2 9	9	
西 方 分 署	広 報 車	トヨタ	H 2 3	15	
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 2 2	16	CD-I型
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 1 2	26	水槽1,500ℓ、I-B型
	高 規 格 救 急 自 動 車	トヨタ	H 3 0	8	
岩 舟 分 署	広 報 車	トヨタ	H 2 4	14	
	消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 2 7	11	水槽600ℓ (C A F S装置付)、CD-I型
	水 槽 付 消 防 ポ ン プ 自 動 車	いすゞ	H 2 0	18	水槽1,500ℓ、I-B型
	災 害 対 応 特 殊 救 急 自 動 車	トヨタ	R 7	1	
岩 舟 分 署	広 報 車	日産	H 2 0	18	
	ポ ー ト ト レ ー ラ ー	ソレックス	H 1 2	26	最大積載量450kg

※災害対応特殊車両及び救助工作車、はしご付消防自動車、災害支援車は緊急消防援助隊登録車両。

消防車等配置図



消防機械器具資器材配備状況

令和8年4月1日現在

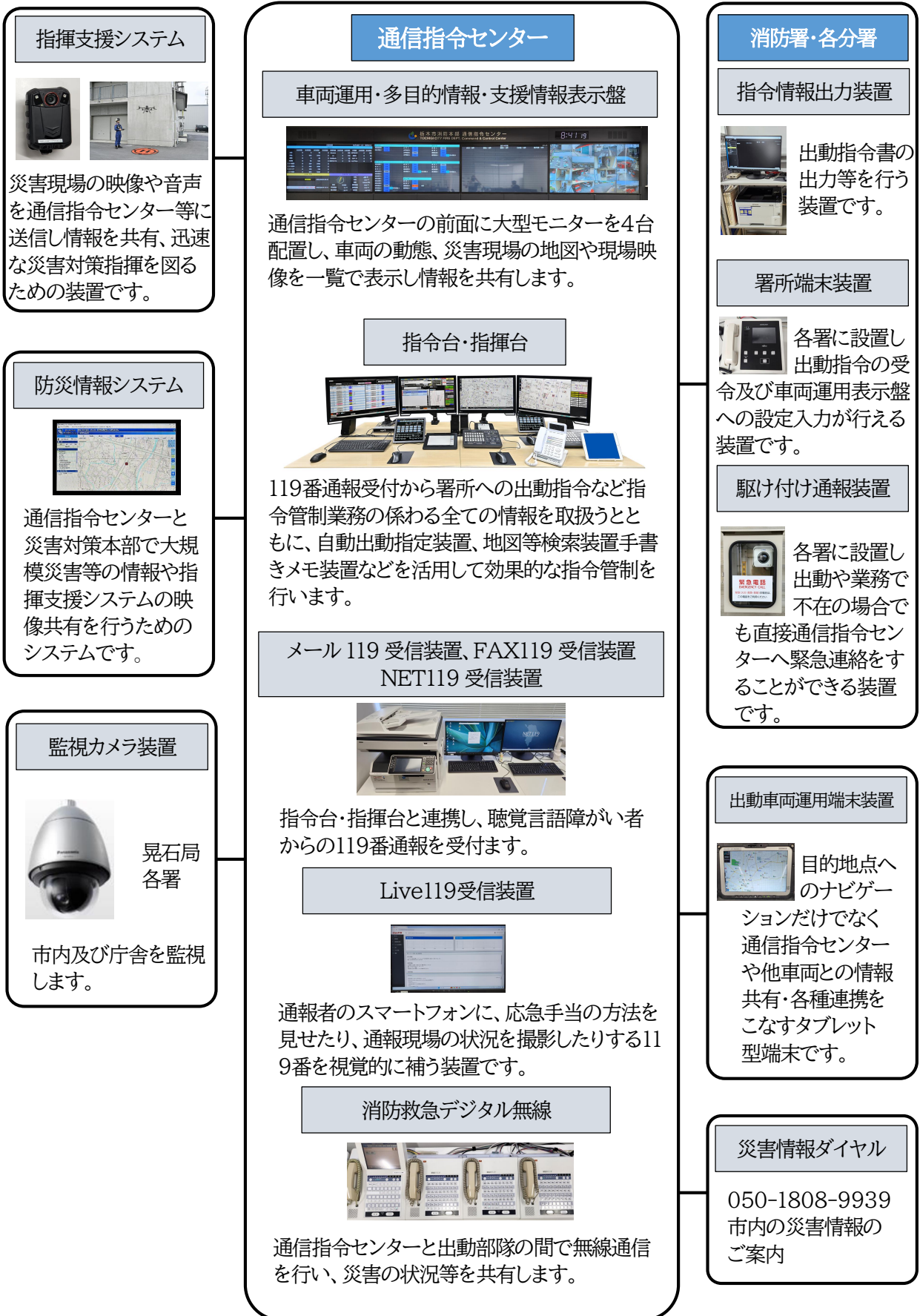
種 別		所 属 別		消 防 本 部	栃 木 市 消 防 署	大 平 分 署	藤 岡 分 署	都 賀 分 署	西 方 分 署	岩 舟 分 署	合 計
救 助 器 具	救命索発射銃				2						2
	油圧式救助器具				4	1	1	1		1	8
	ワイヤーはしご				2						2
	可搬式ウインチ				3	1	1			2	7
	救助マット				1						1
	排煙機				4	1	2				7
	マット型空気ジャッキ				2						2
	耐熱防護服				2						2
	化学防護服（防毒衣）				95	8	8	2			113
	放射線防護服				2						2
	放射線測定器				5						5
	可燃・有毒ガス測定器				3	1	1	1	1	1	8
	耐電用防護服				6						6
	潜水器具一式				12						12
	救命ボート（※水上バイク含む）				3	1	※2	1	1	2	10
	船外機				1	1				1	3
	エアートント				2						2
	熱画像直視装置				2	1	1			1	5
	画像探索装置				1						1
救 急 用 器 具	人工呼吸器				3	1	1	1	1	1	8
	陰圧式固定具				3	2	1	1	2	2	11
	バックボード一式				7	2	3	3	2	3	20
	血圧計				6	5	5	3	5	5	29
	血中酸素飽和度測定器				5	5	2	2	2	2	18
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器				3	1	1	1	1	1	8
	吸引器				7	2	3	2	2	2	18
	喉頭鏡				8	7	3	4	3	5	30
	半自動体外式除細動器				2	1	1	1	1		6
	自動体外式除細動器（AED）			1	2	1	1	1	1	1	8
	ベッドサイドモニター				2	1	1	1	1		6
モニタリング除細動器				1					1	2	

種 別	所 属 別	所 属 別							合 計
		消 防 本 部	栃 木 市 消 防 署	大 平 分 署	藤 岡 分 署	都 賀 分 署	西 方 分 署	岩 舟 分 署	
破壊器具	エンジンカッター		3	2	2	2	2	1	12
	エアツール		2						2
	ガス熔断器		2						2
	チェーンソー		8	2	3	2	2	1	18
	削岩器		2						2
	万能斧		9	2	3	2	3	5	24
呼吸保護具	空気充填設備		1						1
	空気呼吸器		27	10	10	9	10	8	74
	空気ボンベ		87	26	26	23	23	22	207
	酸素呼吸器		3						3
	簡易呼吸器		2						2
作業用器具	ホースカッター		3	1	2	2	2	3	13
	連梯子		6	2	2	2	2	2	16
	かぎ付梯子		4		1	1		1	7
	照明発電機	1	11	2	3	2	2	5	26
	拡声装置	3	12	3	6	4	3	5	36
放水・発泡器具	簡易発泡器		1	1	1	1			4
	エアフォームノズル		6	4	1			1	12
	ピックアップノズル		1			1	1		3
	ラインプロポーションナー		3	1	1	1			6
	消火栓用スタンドパイプ		4	2	2	2	2	2	14
	分岐金具		9	4	5	7	5	8	38
	ホースブリッジ		3	4	4	4	4	4	23
	ロータリー管鎗		1		1				2
	フォグガン		5	2	2	1	2		12
	山林火災用手動ポンプ		30	12	18	10	13	15	98
	山林火災用可搬式送水装置		2	1	1	1	1	1	7
	ウォーターチャージャー		1	2	2	1	1	2	9
界面活性剤原液(ℓ)		1,680	320	200	360	60	380	3,000	
その他の器具	超音波厚さ計	1							1
	ピンホール探知機	1							1
	膜厚計	1							1
	非接触温度計		3	1	1	1	1	1	8

通信指令課関係

通信指令センター概略系統図

令和8年4月1日現在



システム主要機器

令和8年4月1日現在

機 器 名		数 量	概 略 仕 様
通信指令センター	自動出動指定装置	4席	Ⅱ型 4席8扱い者
	地図検索装置		
	支援情報表示装置		
	音声合成装置	1式	75インチモニター 75インチモニター 75インチモニター・43インチモニター 43インチモニター 活動波:2台・共通波:5台 栃木署・藤岡分署(藤岡分署は風向風速のみ) 固定・携帯・IP位置情報の取得 車両型1式、ウェアラブル型8式 ドローン型2式 防災情報サーバー1式 防災情報端末3台、プリンター3台
	指令伝送装置	1式	
	指令制御装置・非常用指令設備	1式	
	車両運用表示盤	1式	
	支援情報表示盤	1式	
	多目的情報表示盤	4式	
	災害情報表示盤	3式	
	無線統制台	7台	
	気象情報収集装置	1式	
	順次指令装置	1式	
	統合型位置情報通知装置	1式	
	災害状況等自動案内装置	1式	
	指揮支援システム	1式	
	防災情報システム	1式	
	長時間録音装置	1台	
	聴覚障がい者用メール119	1式	
	聴覚障がい者用FAX119	1式	
Net119緊急通報システム	1式		
Live119映像通報システム	1式		
本部・署・分署等	署所端末装置	6式	
	署所端末用受令機	5式	各分署1式
	指令情報出力装置	6式	署、各分署1式
	監視カメラ	18式	本部・署6式、各分署2式 晃石山無線基地局2式
	駆け付け通報装置	6式	署・各分署1式
	車両運用表示盤	6式	50インチモニター、署、各分署1式
	多目的情報表示盤	1式	50インチモニター、署1式

無線通信設備

令和8年4月1日現在

所 属	種 別	所有 局数	周 波 数 内 訳		
			活動波	共通波	簡易多重
消 防 本 部	基 地 局	1	2	—	—
	固 定 局	2	—	—	2
	陸上移動局	5	2	4	—
栃木市消防署	陸上移動局	40	2	4	—
大平分署	陸上移動局	13	2	4	—
藤岡分署	陸上移動局	13	2	4	—
都賀分署	陸上移動局	12	2	4	—
西方分署	陸上移動局	12	2	4	—
岩舟分署	陸上移動局	12	2	4	—

気象関係

気温

令和7年中

気温 (℃)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
平均	4.4	4.2	9.1	14.6	18.5	24.6	28.3	29.0	25.5	17.7	10.6	5.9	年間平均 16.0℃
最高	14.1	16.5	24.5	28.7	30.7	36.0	37.5	39.4	37.4	29.4	23.2	17.5	最高観測日 8月5日
最低	-4.4	-5.6	-2.1	2.3	7.7	14.3	20.1	21.7	15.4	5.8	0.9	-3.1	最低観測日 2月23日

雨量

雨量 (mm)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
降水量	16.0	1.5	80.5	113.0	191.0	169.0	108.5	53.0	178.0	65.0	5.0	22.0	年間降水量 1002.5mm
降水日数 (日)	2	1	11	9	16	13	11	8	12	12	3	5	年間降水日 103日
1日最高 降水量	15.5	1.5	22.0	21.0	54.5	30.5	41.0	12.0	76.0	29.5	3.0	12.5	最高観測日 9月5日
1時間最高 降雨量	5.5	1.0	6.0	9.0	13.5	18.0	34.0	10.0	32.0	13.5	7.0	3.5	最高観測日 7月10日

風速

風速 (m/s)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
平均	2.1	2.9	2.1	2.4	2.1	2.0	2.2	2.0	1.8	1.7	1.6	1.8	年間平均 2.1m/s
最大瞬間	17.1	22.1	18.8	20.2	14.6	15.1	17.6	12.0	21.7	12.1	15.6	21.3	最大瞬間観測日 2月13日
最大瞬間 観測日時	1月31日 13時03分	2月13日 8時13分	3月17日 12時16分	4月16日 16時01分	5月31日 9時32分	6月23日 13時23分	7月15日 7時40分	8月2日 18時35分	9月17日 20時28分	10月28日 7時30分	11月10日 14時46分	12月3日 23時25分	

119番通報受付回数

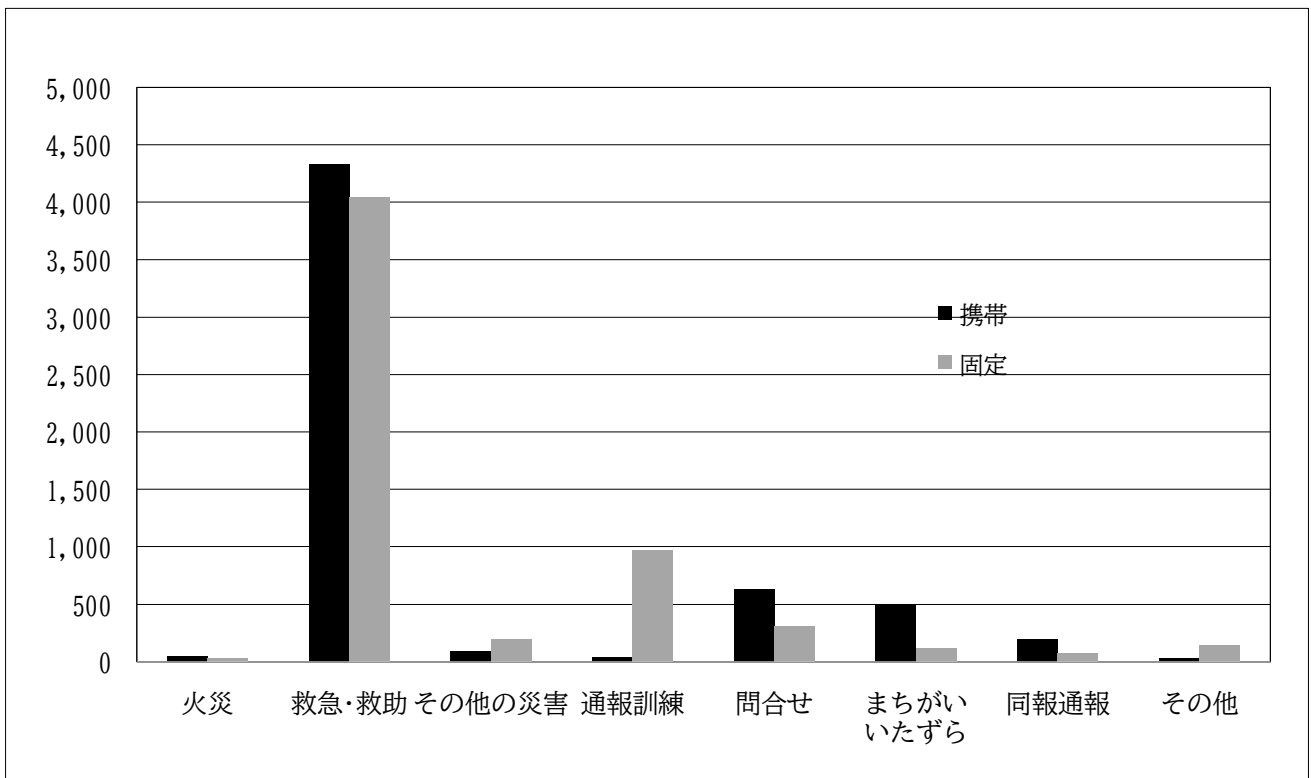
令和7年中(件)

種別 月	火災		救急・救助		その他の災害		通報訓練		問合せ		まちがいたずら		同報通報		その他		合計	
	回数	(携帯)	回数	(携帯)	回数	(携帯)	回数	(携帯)	回数	(携帯)	回数	(携帯)	回数	(携帯)	回数	(携帯)	回数	(携帯)
1月	12	(4)	923	(455)	25	(6)	48	(6)	155	(104)	47	(37)	20	(13)	10	(1)	1,240	(626)
2月	19	(13)	656	(339)	24	(7)	83	(1)	81	(50)	51	(35)	40	(33)	22	(4)	976	(482)
3月	8	(6)	660	(336)	28	(9)	131	(3)	74	(58)	37	(32)	16	(10)	25		979	(454)
4月	3	(3)	643	(341)	20	(4)	58		52	(33)	42	(32)	14	(12)	11	(2)	843	(427)
5月	3	(1)	604	(290)	20	(11)	86	(9)	58	(41)	49	(42)	8	(7)	6	(1)	834	(402)
6月	3	(2)	683	(331)	26	(3)	83	(4)	65	(35)	57	(44)	35	(20)	20		972	(439)
7月	4	(4)	718	(388)	30	(12)	56	(5)	66	(40)	59	(52)	23	(13)	17	(5)	973	(519)
8月	4	(2)	716	(394)	15	(3)	48	(1)	83	(55)	52	(45)	23	(16)	10	(2)	951	(518)
9月	6	(5)	668	(350)	30	(12)	101	(2)	92	(65)	49	(43)	27	(24)	7	(2)	980	(503)
10月	5	(4)	634	(333)	19	(6)	113	(5)	52	(41)	54	(40)	17	(14)	10	(4)	904	(447)
11月	2	(2)	707	(381)	19	(7)	105	(2)	75	(50)	51	(45)	18	(13)	13	(5)	990	(505)
12月	5	(1)	765	(397)	33	(13)	100	(4)	82	(55)	64	(53)	31	(22)	19	(2)	1,099	(547)
合計	74	(47)	8,377	(4335)	289	(93)	1,012	(42)	935	(627)	612	(500)	272	(197)	170	(28)	11,741	(5869)

()は携帯電話受付回数を含む

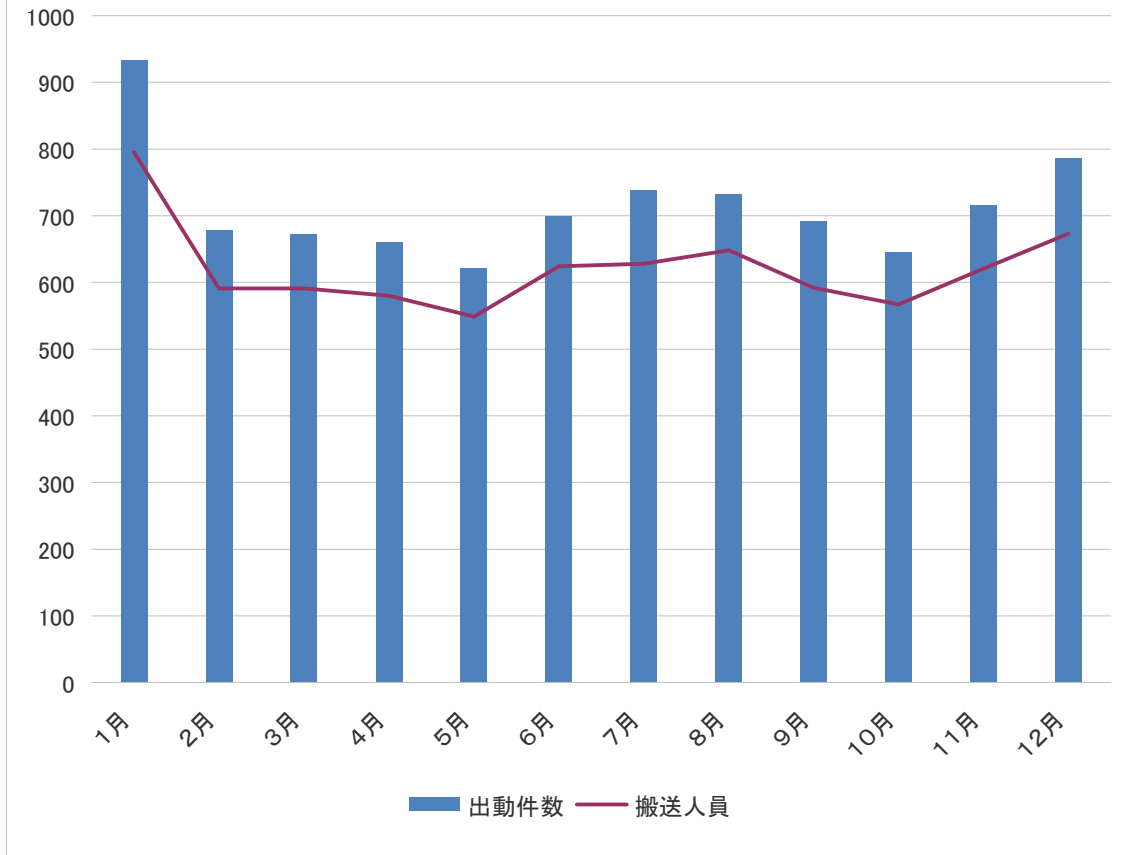
固定電話・携帯電話受付比較

(件)

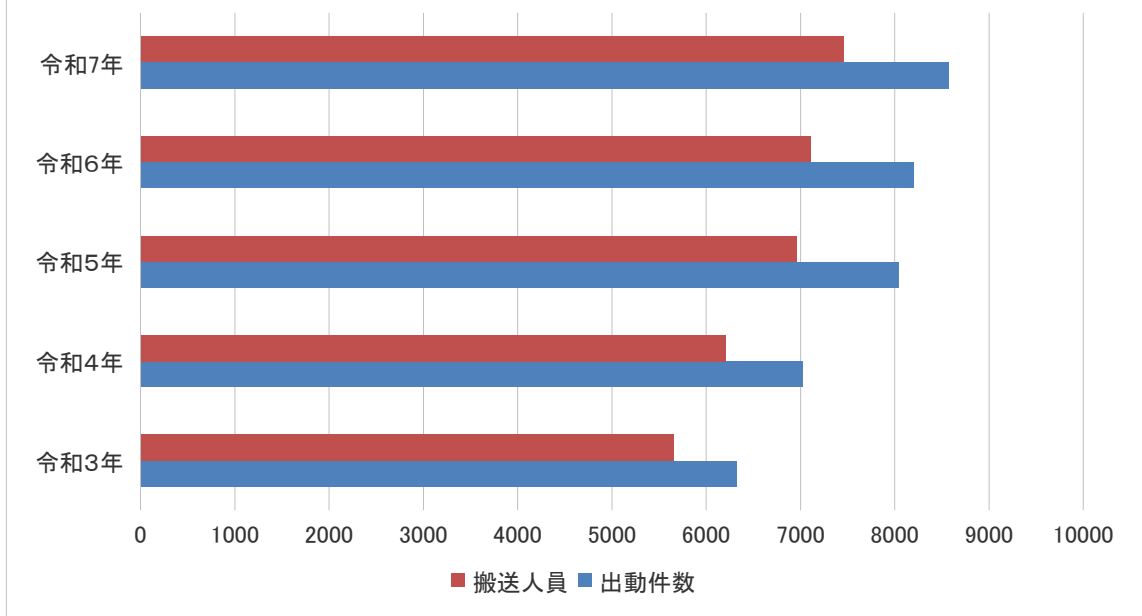


救急・救助統計

月別救急件数・搬送人員(令和7年中)



過去5年間の救急件数・搬送人員



月別高速道路活動状況

令和7年中

区分 月別	東北自動車道								北関東自動車道								合計		
	交通事故				その他		小計		交通事故				その他		小計				
	上り		下り						東行き		西行き								
	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	
1月	2	1			1	1	3	2	1							1		4	2
2月			2	4			2	4										2	4
3月					1	1	1	1										1	1
4月					1		1											1	
5月					3	1	3	1	1		1	1	1			3	1	6	2
6月					1	1	1	1			1	1				1	1	2	2
7月	1	1			2	1	3	2					1	1	1	1		4	3
8月	4	2	1	1	3	3	8	6			2	1			2	1		10	7
9月	1	1	8	5			9	6					1	1	1	1		10	7
10月																			
11月	2	4					2	4										2	4
12月	1	1					1	1										1	1
合計	11	10	11	10	12	8	34	28	2		4	3	3	2	9	5		43	33

過去5年間高速道路活動状況

令和7年中

区分 年別	東北自動車道								北関東自動車道								合計		
	交通事故				その他		小計		交通事故				その他		小計				
	上り		下り						東行き		西行き								
	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	出動 件数	搬送 人員	
R3	7	3	13	11	3	2	23	16	2	1	4	3			6	4		29	20
R4	17	12	6	4	2	2	25	18	3	2	2	2			5	4		30	22
R5	12	12	5	6	17	13	34	31	1	1	1	1	2	2	4	4		38	35
R6	18	20	5	8	16	11	39	39	1	1	8	7	1		10	8		49	47
R7	11	10	11	10	12	8	34	28	2		4	3	3	2	9	5		43	33
合計	65	57	40	39	50	36	155	132	9	5	19	16	6	4	34	25		189	157

年齢別・事故別・程度別搬送人員状況

令和7年中

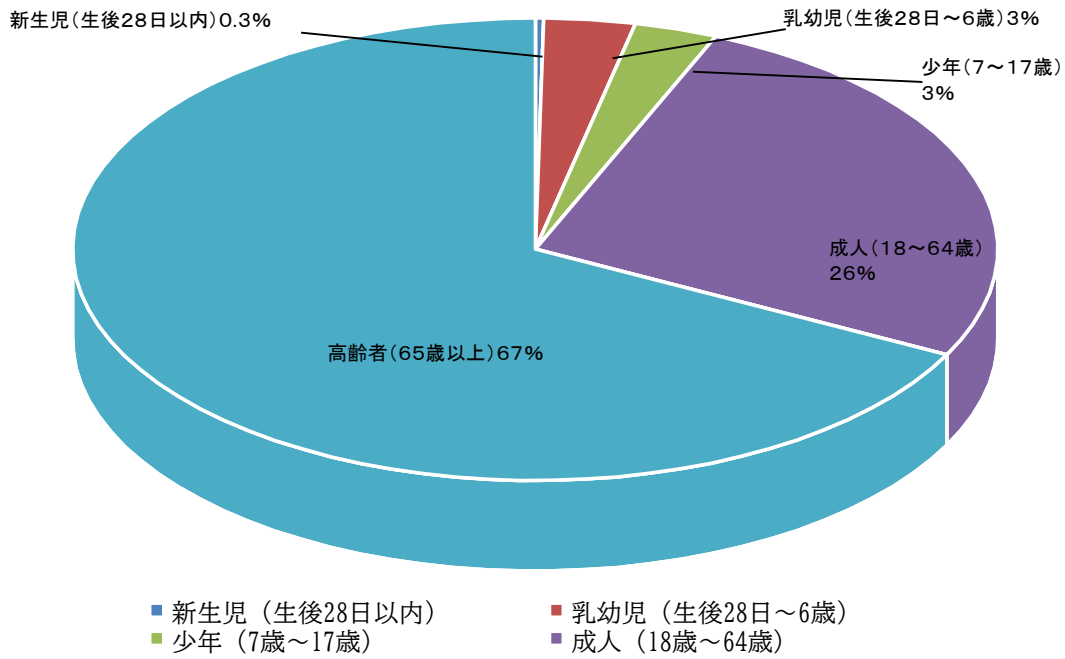
事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計	
														年齢程度
新生児	(生後28日以内)	死												0
		重										1		1
		中										1	17	18
		軽										1	2	3
		その他												
	計										3	19	22	
乳幼児	(生後28日～6歳)	死												0
		重				2						3		5
		中				3			5			27	4	39
		軽				3			36			154	1	194
		その他												
	計				8			41			184	5	238	
少年	(7歳～17歳)	死												0
		重						1				2		3
		中				7		1	6		4	16	1	35
		軽				46		24	19	1	2	87		179
		その他												
	計				53		25	26	1	6	105	1	217	
成人	(18歳～64歳)	死				2		1		5	13			21
		重				5	3		3		5	87	26	129
		中				52	25	2	45	1	12	473	130	740
		軽				201	38	9	118	13	12	653	16	1,060
		その他												
	計				258	68	11	167	14	34	1,226	172	1,950	
高齢者	65歳以上	死			1			5		3	103			112
		重	1			10	5		33		6	311	116	482
		中	1		1	56	11		425	3	3	2,041	362	2,903
		軽	1		2	92	5	3	331	5	3	1,072	21	1,535
		その他												
	計	3		3	159	21	3	794	8	15	3,527	499	5,032	
合計		死	0	0	0	1	2	0	6	0	8	116	0	133
		重	1	0	0	17	8	0	37	0	11	404	142	620
		中	1	0	1	118	36	3	481	4	19	2,558	514	3,735
		軽	1	0	2	342	43	36	504	19	17	1,967	40	2,971
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	3	0	3	478	89	39	1,028	23	55	5,045	696	7,459	

曜日別・事故種別搬送人員状況

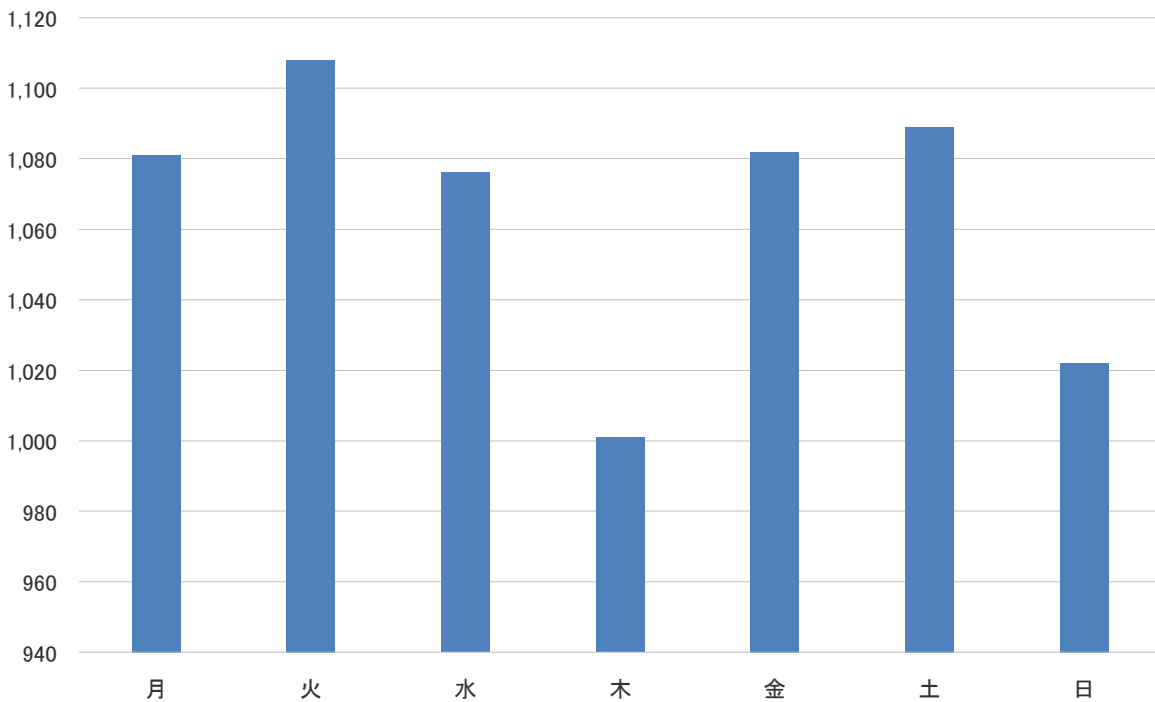
令和7年中

事故種別		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
曜日別		災	災害	難	通	災害	競技	負傷	害	行為	病	他	
月					62	11	1	140	2	10	750	105	1,081
火			1		75	22	4	137	1	9	750	109	1,108
水	2				77	11	4	151	2	7	711	111	1,076
木			1		70	19	1	141	1	8	675	85	1,001
金					63	14	4	140	4	11	697	149	1,082
土	1				71	9	9	169	1	4	723	102	1,089
日			1		60	3	16	150	12	6	739	35	1,022
計		3	0	3	478	89	39	1,028	23	55	5,045	696	7,459

年齢別搬送人員（令和7年中）



曜日別搬送人員（令和7年中）



署別救急活動状況

令和7年中

署別 月別	栃木市消防署		大平分署		藤岡分署		都賀分署		西方分署		岩舟分署		合 計	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
1月	424	357	165	137	85	69	66	66	77	66	117	100	934	795
2月	307	271	140	111	51	48	43	37	51	44	86	80	678	591
3月	319	291	136	106	45	37	49	42	40	37	84	78	673	591
4月	300	266	127	103	54	46	38	36	52	51	89	78	660	580
5月	296	264	127	115	44	36	36	32	40	36	79	66	622	549
6月	330	299	137	116	59	52	43	40	42	42	88	75	699	624
7月	336	286	140	118	56	46	48	40	61	55	98	83	739	628
8月	340	293	145	134	52	46	61	52	54	49	80	74	732	648
9月	341	292	123	107	66	53	38	36	43	37	81	67	692	592
10月	293	260	131	115	52	46	37	35	45	38	88	73	646	567
11月	333	295	124	95	56	46	54	50	66	66	84	69	717	621
12月	355	301	145	125	59	48	57	53	61	55	109	91	786	673
合計	3,974	3,475	1,640	1,382	679	573	570	519	632	576	1,083	934	8,578	7,459

地域別救急活動状況

令和7年中

地域別 事故別	栃木地域		大平地域		藤岡地域		都賀地域		西方地域		岩舟地域		管 外		合 計	
	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員	出動件数	搬送人員
火 災	9		6		3	1	5	1	2		6	1			31	3
自然災害															0	0
水 難					1	1			2	1	1	1	1		5	3
交通事故	255	245	75	71	39	33	46	45	23	20	67	61	10	3	515	478
労働災害	39	36	19	18	11	11	11	11	5	4	9	9			94	89
運動競技	23	23	3	3	5	5	3	2	1	1	5	5			40	39
一般負傷	588	542	166	140	109	101	99	93	49	48	115	104			1,126	1,028
加 害	19	16	3	2	3	3					5	2			30	23
自損行為	36	28	14	10	7	4	11	6	3	1	11	6			82	55
急 病	3,048	2,646	996	841	554	478	409	376	192	168	627	535	1	1	5,827	5,045
そ の 他	276	210	393	367	39	25	27	19	49	45	43	30	1		828	696
合 計	4,293	3,746	1,675	1,452	771	662	611	553	326	288	889	754	13	4	8,578	7,459

救助活動状況

令和7年中（△は減）

年別 区分	令和6年	令和7年	対前年 (増減)
出動件数	144	155	11
活動件数	60	81	21
救助人員	51	70	19

地域別救助活動状況

令和7年中（△は減）

地域別 年別		栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	管外	計
令和6年	出動件数	80	23	12	8	2	18	1	144
	活動件数	30	7	5	5	1	12	0	60
令和7年	出動件数	60	27	14	15	10	24	5	155
	活動件数	32	14	8	9	5	9	4	81
比較	出動件数	(20)	4	2	7	8	6	4	11
	活動件数	2	7	3	4	4	(3)	4	21

事故種別救助活動状況

令和7年中

事故種別 区分	火災	交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	よめる機械等に	よ建る物事に	酸ガス及び	破裂事故	事その他	合計
出動件数	26	49	6	0	6	41	1	0	26	155	
活動件数	0	22	5	0	3	30	1	0	20	81	
救助人員	0	23	5	0	3	21	0	0	18	70	

過去5年間の救助活動状況

令和7年中

年別 区分	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	平均
出動件数	172	188	215	144	155	175
活動件数	60	73	60	60	81	67
救助人員	55	75	59	51	70	62

※救助活動状況・地域別救助活動状況・事故種別救助活動状況・過去5年間の救助活動状況のそれぞれの表は火災指令で出動したものを含む

消防水利關係

地域別消防水利設置状況

令和8年4月1日現在（箇所）

地域別 種別		栃木 地域	大平 地域	藤岡 地域	都賀 地域	西方 地域	岩舟 地域	計
		井戸	218	98	39	4	0	
消火栓		1,516	460	392	319	161	322	3,170
防 火 水 そ う	40㎡以上	142	89	31	19	23	147	451
	20㎡以上	361	85	174	83	17	38	758
	20㎡未満	53	0	37	1	2	2	95
プー ル		21	6	6	4	2	4	43
計		2,311	738	679	430	205	513	4,876

栃木市消防団関係



栃木市消防団の歩み

平成22年3月29日、旧栃木市・大平町・藤岡町・都賀町の1市3町が合併し、新生・栃木市が誕生した。これに伴い、旧市町の消防団組織についても、新たな栃木市消防団として4方面隊条例定数933名で、再編された。

平成22年3月	初代団長 島田吉益氏が団長兼栃木方面隊長を拝命
5月	栃木市文化会館にて栃木市消防団結団式を挙行
11月	合併後初となる通常点検を栃木市総合運動公園多目的グラウンドで実施し、蔵の街大通りで分列行進を実施
平成23年1月	CD-1型消防ポンプ車2台 栃木方面隊第8分団第1部・栃木方面隊第9分団第2部に配備
3月	東日本大震災
4月	二代目団長 茂呂晃男氏が団長兼藤岡方面隊長を拝命
6月	平成23年度栃木市・野木町合同水防演習を栃木市藤岡町藤岡東原地先堤防(渡良瀬川右岸・渡良瀬運動公園堤)で実施
平成23年10月	西方町合併に伴い西方町消防団が栃木市消防団に合併 条例定数1,056名 5方面隊制になる 栃木市消防団第1回消防操法大会 会場の栃木市総合運動公園多目的グラウンド北駐車場が当日・予備日ともに雨天により中止
平成24年2月	CD-1型消防ポンプ車3台 栃木方面隊第5分団・栃木方面隊第9分団第3部・栃木方面隊第10分団第2部に配備
11月	CD-1型消防ポンプ車2台 栃木方面隊第6分団・栃木方面隊第12分団第2部に配備
平成25年2月	指揮連絡車1台 栃木方面隊本部分団に配備
4月	団長兼方面隊長を解き、茂呂晃男氏が単独団長となる
6月	平成25年度栃木市・野木町合同水防演習を栃木市藤岡町藤岡東原地先堤防(渡良瀬川右岸・渡良瀬運動公園堤)で実施
7月	女性消防団発足 条例定数20名 入団者11名
10月	CD-1型消防ポンプ車2台 栃木方面隊第7分団・都賀方面隊第2分団に配備
11月	都賀方面隊第2分団機械器具置場落成
平成26年3月	指揮連絡車1台 都賀方面隊本部分団に配備 多機能型消防車(小型動力ポンプ積載車)1台 総務省消防庁無償貸付により藤岡方面隊第1分団第2部に配備
4月	岩舟町合併に伴い岩舟町消防団が栃木市消防団に合併 条例定数1,239名 6方面隊制になる
7月	第41回栃木県消防操法大会にポンプ車操法の部で大平方面隊第2分団第2部が、小型ポンプ操法の部で都賀方面隊第1分団第1部が出場
12月	CD-1型消防ポンプ車1台 栃木方面隊第10分団第4部に配備
平成27年3月	団本部指揮車1台 団本部に配備
4月	三代目団長 石崎常男氏が団長を拝命
6月	デジタル無線携帯型受令機215基、車載型受令機81基を整備 平成27年度栃木市・野木町合同水防演習を栃木市藤岡町藤岡東原地先堤防(渡良瀬川右岸・渡良瀬運動公園堤)で実施

9月	市民より女性消防団員用広報車両「トヨタ・シエンタ」の寄贈を受ける 関東東北豪雨 栃木市日降水量299.0mm 9日～13日の5日間で延べ1,076名の団員が出動する
平成28年3月	CD-1型消防ポンプ車1台 藤岡方面隊第2分団第1部に配備
4月	石崎団長が総理大臣主催の桜を見る会に災害功労者（平成27年度防災功労者消防庁長官表彰）として参加
6月	栃木方面隊第11分団第3部機械器具置場落成
7月	栃木市消防団サポート事業を開始する
9月	防災功労者内閣総理大臣表彰を総理官邸にて受賞
12月	栃木市消防団充実強化策 策定 デジタル簡易無線配備 携帯無線271基固定無線機6基、車載無線機1基を整備
平成29年2月	多機能型消防車（小型動力ポンプ積載車）1台 総務省消防庁無償貸付により西方方面隊第3分団第2部に配備
4月	機能別消防団員制度を開始する
6月	合併後初となる全方面隊合同での夏季点検を市総合運動公園多目的グラウンドで実施
7月	都賀方面隊第4分団第2部機械器具置場落成
9月	四代目団長 大豆生田 隆氏が団長を拝命
10月	CD-1型消防ポンプ車2台 大平方面隊第3分団第1部・都賀方面隊第3分団に配備
平成30年2月	栃木市消防団再編計画 策定
4月	栃木方面隊第11分団3部と5部、岩舟方面隊第3分団3部と4部が合併し条約定数1,216名となる 栃木市学生消防団員活動認証制度を開始する
10月	CD-1型消防ポンプ車2台 栃木方面隊第11分団第2部・大平方面隊第2分団第1部に配備
12月	栃木方面隊第8分団第4部機械器具置場落成
令和元年10月	CD-1型消防ポンプ車（3.5t未満）2台 都賀方面隊第1分団第2部・岩舟方面隊第2分団第1部に配備 令和元年東日本台風（台風第19号） 12日～14日の3日間で延べ1,803名が出動し58名を救助する
11月	令和元年度栃木市消防団通常点検は令和元年東日本台風（台風第19号）の被災により初めての中止（下都賀支部管内すべての消防団が中止）
12月	指揮連絡車2台 大平方面隊本部分団 藤岡方面隊本部分団に配備
令和2年2月	水防功労者国土交通省大臣表彰を国土交通省講堂にて受賞
3月	防災功労者消防庁長官表彰を受賞（新型コロナウイルス感染症拡大の為授賞式は中止）
6月	CD-1型消防ポンプ車（3.5t未満）2台 栃木方面隊第2分団・大平方面隊第1分団第1部に配備
9月	防災功労者内閣総理大臣表彰を総理大臣官邸にて受賞
11月	指揮連絡車1台 西方方面隊本部分団に配備 令和2年度栃木市消防団通常点検が新型コロナウイルス感染症拡大の感染防止対策のため中止となる（表彰伝達式のみ市役所にて実施）
令和3年2月	小型動力ポンプ付積載車（軽自動車デッキバン型）2台 栃木方面隊第8分団第2部・西方方面隊第3分団第1部に配備
4月	栃木市消防団再編 栃木市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正する条例及び栃木市消防団の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定

	<p>方面隊制を廃止し本部分団の統合を行い栃木市消防団新体制となる 定員数1,021人、実員数1,000人、32分団42部体制、器具置場58棟、 車両67台（放水車両57台・指揮広報車等10台）保有となり、これまでの方面 隊の枠を越えた直近の出場体制となる 栃木市消防団初となる入退団式を岩下新生姜ホール（栃木市文化会館）で開催</p>
10月	令和3年度栃木市消防団通常点検が新型コロナウイルス感染症拡大の感染防止対策のため中止となる（表彰伝達式のみ市役所にて実施）
11月	小型動力ポンプ付積載車（軽自動車デッキバン型）3台 藤岡第2分団第2部・藤岡第3分団第2部・藤岡第4分団第2部に配備
令和4年2月	栃木市消防団災害出動要領を制定し常備消防との連携を強化すると共に団員の負担軽減を図る
4月	栃木市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正する条例及び栃木市消防団の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定 団員の処遇改善を図るため報酬等を見直し、災害の出動報酬が1日最大8,000円となる
12月	栃木県・栃木市総合防災訓練に参加し、水防工法訓練や一斉放水訓練等を実施
令和5年3月	救助用資機材搭載型小型動力ポンプ積載車（3.5t未満）1台 総務省消防庁無償貸付により都賀第1分団第1部に配備 CD-1型消防ポンプ車（3.5t未満）2台 藤岡第4分団第1部・都賀第4分団第1部に配備
4月	栃木市消防団員の定員、任免、給与、服務に関する条例の一部改正する条例及び栃木市消防団の組織等に関する規則の一部を改正する規則の制定 消防団員数を、定員数1,021人から定員数1,009人とする
9月	第47回栃木県消防操法大会に、ポンプ車操法の部で都賀第3分団が出場
令和6年10月	小型動力ポンプ付積載車（軽自動車デッキバン型）2台 栃木第10分団第3部・栃木第12分団第3部に配備
令和7年3月	救助用資機材搭載型ポンプ自動車CD-1型（3.5t未満）1台 総務省消防庁無償貸付により藤岡第1分団第1部に配備
4月	五代目団長 白井 誠氏が団長を拝命
10月	CD-1型消防ポンプ車（3.5t未満）1台 大平第1分団第2部に配備

栃木市消防団



市長 琴寄 昌男



消防団長 白井 誠

消防団員の定員及び実員

令和8年4月1日現在（人）

所 属 名 / 区 分	定 員	実 員	備 考
団 本 部	7	7	
女 性 分 団	20	15	
本 部 分 団	36	35	
栃 木 地 域	401	354	
大 平 地 域	121	110	
藤 岡 地 域	136	116	
都 賀 地 域	89	85	
西 方 地 域	83	69	
岩 舟 地 域	116	102	
計	1,009	893	

消防団員配置状況

令和8年4月1日現在（人）

階級 所属別	消防団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	1	6						7
本部分団			6	12	17			35
女性分団			1	1	1	2	10	15
栃木地域			12	12	23	32	275	354
大平地域			3	3	8	11	85	110
藤岡地域			4	4	8	8	92	116
都賀地域			4	4	6	7	64	85
西方地域			4	4	5	7	49	69
岩舟地域			3	3	6	8	82	102
計	1	6	37	43	74	75	657	893

車両配置状況

令和8年4月1日現在（台）

種別 所属別	消防ポンプ 自動車	小型動力ポンプ付 積載車	指揮連絡車等	計
団本部			2	2
女性分団			1	1
栃木地域	17	6	1	24
大平地域	8		1	9
藤岡地域	4	4	1	9
都賀地域	4	2	1	7
西方地域	2	4	1	7
岩舟地域	6		1	7
計	41	16	9	66

団本部車両現勢

令和8年4月1日現在

種別	車名	型式	年式	使用年数
指揮連絡車	ホンダ	DBA-RK5	H27	11
指揮連絡車	ニッサン	DBA-NT32	R 1	6

女性分団車両現勢

令和8年4月1日現在

種別	車名	型式	年式	使用年数
指揮広報車	トヨタ	DBA-NCP81G	H27	11

栃木地域消防車両現勢

令和8年4月1日現在

区分 分団名	種別	車名	型式	年式	ポンプ 型 式	級別	使用 年数	
本部分団	指揮連絡車	トヨタ	DBA-ZRR70G	H25			13	
第1分団	普通ポンプ車	イスズ	BDG-NMR85N	H20	R-3FC	A-2	18	
第2分団	普通ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	R 2	MZ I	A-2	5	
第3分団	普通ポンプ車	日野	SKG-XZU640M	H24	N04C	A-2	14	
第4分団	普通ポンプ車	トヨタ	BDG-XZU334M	H22	N04C	A-2	17	
第5分団	普通ポンプ車	日野	SKG-XZU640M	H24	N04C	A-2	14	
第6分団	普通ポンプ車	イスズ	TKG-NMR85N	H24	ME-5	A-2	13	
第7分団	普通ポンプ車	イスズ	TKG-NMR85N	H25	R3	A-2	12	
第8分団	1部	普通ポンプ車	日野	SKG-XZU640M	H23	R3	A-2	15
	2部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 3	FF500AS	B-2	5
		積載車	スズキ	HBD-DA17V改	R 3			5
3部	普通ポンプ車	イスズ	TKG-NMR85N	H21	YSA20	A-2	17	
第9分団	1部	普通ポンプ車	イスズ	TKG-NMR85N	H21	YSA20	A-2	17
	2部	普通ポンプ車	日野	BDG-XZU334M	H23	R3	A-2	15
	3部	小型動力ポンプ	トーハツ		H20	VC82AM	B-2	18
		積載車	イスズ	BKG-NHS85A	H20			18
第10分団	1部	普通ポンプ車	イスズ	TKG-NMR85N	H26	MZI	A-2	11
	2部	普通ポンプ車	日野	SKG-XZU640M	H24	N04C	A-2	15
	3部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 6	B-2級FF510AS	B-2	2
		積載車	ダイハツ	3BD-S710W	R 6			2
第11分団	1部	小型動力ポンプ	トーハツ		H17	VC82AM	B-2	21
		積載車	イスズ	KR-NHS69A	H17			21
	2部	普通ポンプ車	イスズ	TKG-NMR85N	H30	MZ I	A-2	7
	3部	普通ポンプ車	トヨタ	BDG-XZU334M	H22	N04C	A-2	16
	4部	小型動力ポンプ	トーハツ		H19	VC82AM	B-2	19
		積載車	トヨタ	KR-KDY280	H19			19
第12分団	1部	普通ポンプ車	日野	BDG-XZU334M	H19	ME-5-A03046	A-2	19
	2部	普通ポンプ車	イスズ	TKG-NMR85N	H24	ME-5	A-2	13
	3部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 6	B-2級FF510AS	B-2	2
		積載車	ダイハツ	3BD-S710W	R 6			2

大平地域消防車両現勢

令和8年4月1日現在

区分		種別	車名	型式	年式	ポンプ 型式	級別	使用 年数
本部分団		指揮連絡車	ニッサン	HBD-DR17V	R 1			6
第1分団	1部	普通ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	R 2	MZ I	A-2	5
	2部	普通ポンプ車	トヨタ	3BF-TRY230改	R 7	KF-5	A-2	1
	3部	普通ポンプ車	イズズ	BKG-NMR85N	H21	KF-5	A-2	16
第2分団	1部	普通ポンプ車	イズズ	TPG-NMR85N	H30	MZ I	A-2	7
	2部	普通ポンプ車	イズズ	BKG-NMR85N	H21	KF-5	A-2	16
第3分団	1部	普通ポンプ車	イズズ	TPG-NMR85N	H29	MZ I	A-2	8
	2部	普通ポンプ車	イズズ	BDG-NMR85N	H20	KF-5	A-2	17
	3部	普通ポンプ車	イズズ	BDG-NMR85N	H20	KF-5	A-2	18

藤岡地域消防車両現勢

令和8年4月1日現在

区分		種別	車名	型式	年式	ポンプ 型式	級別	使用 年数
本部分団		指揮連絡車	ニッサン	HBD-DR17V	R 1			6
第1分団	1部	普通ポンプ車	トヨタ	3BF-TRY230改	R 7	MZ-1	A-2	2
	2部	小型動力ポンプ	トーハツ		H26	片吸込1段 タービンポンプ	B-2	12
		積載車	イズズ	TKG-NHS85AN	H26			12
第2分団	1部	普通ポンプ車	イズズ	TKG-NMS85AN	H28	MPDV-90	A-2	10
	2部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 3	FF500AS	B-2	4
		積載車	ダイハツ	3BD-S331W	R 3			4
第3分団	1部	水槽付ポンプ車	イズズ	BDG-NMS85AN	H19	YSA-20	A-2	18
	2部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 3	FF500AS	B-2	4
		積載車	ダイハツ	3BD-S331W	R 3			4
第4分団	1部	普通ポンプ車	トヨタ	3BF-TRY230改	R 5	MZ-1	A-2	3
	2部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 3	FF500AS	B-2	4
		積載車	ダイハツ	3BD-S331W	R 3			4

都賀地域消防車両現勢

令和8年4月1日現在

区分 分団名		種別	車名	型式	年式	ポンプ 型式	級別	使用 年数
本部分団		指揮連絡車	ホンダ		H26			11
第1分団	1部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 5	B7000	B-2	3
		積載車	トヨタ	3BF-TRY230	R 5			3
第2分団		普通ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	R 1	MZ-1	A-2	6
第2分団		普通ポンプ車	イズズ	TKG-NMR85N	H25	R3FC	A-2	11
第3分団		普通ポンプ車	イズズ	TPG-NMR85N	H29	MZ-1	A-2	7
第4分団	1部	普通ポンプ車	トヨタ	3BF-TRY230改	R 5	MZ-1	A-2	3
	2部	小型動力ポンプ	シバウラ		H21	SF756MZ	B-2	16
		積載車	トヨタ	ADF-KDY231	H21			16

西方地域消防車両現勢

令和8年4月1日現在

区分 分団名		種別	車名	型式	年式	ポンプ 型式	級別	使用 年数
本部分団		指揮連絡車	ニッサン	TB-EE103V	R 2			5
第1分団		普通ポンプ車	トヨタ	BDG-XZU334	H22	GM23	A-2	15
第2分団		普通ポンプ車	トヨタ	BDG-XZU334	H19	GM23	A-2	18
第3分団	1部	小型動力ポンプ	シバウラ		R 3	FF500AS	B-2	5
		積載車	スズキ	HBD-DA17V改	R 3			5
第3分団	2部	小型動力ポンプ	トーハツ		H29	VF63AS	B-2	9
		積載車	イズズ	TPG-NHS85AN	H29			9
第4分団		小型動力ポンプ	シバウラ		H20	SF756MZ	B-2	17
		積載車	トヨタ	ADF-KDY281	H20			17
		小型動力ポンプ	ラビット		H20	P555DAN	B-2	18
		積載車	スバル	LE-TV2	H20			18

岩舟地域消防車両現勢

令和8年4月1日現在

区分 分団名		種別	車名	型式	年式	ポンプ 型式	級別	使用 年数
本部分団		指揮連絡車	トヨタ	CBA-TRH214W	H24			13
第1分団	1部	普通ポンプ車	イズズ	BKG-NMR85N	H21	YSA20	A-2	16
	2部	普通ポンプ車	イズズ	SKG-NMR85N	H23	YSA20	A-2	13
第2分団		普通ポンプ車	トヨタ	LDF-KDY231改	R 1	MZ I	A-2	6
		普通ポンプ車	イズズ	BDG-NMR85N	H20	YSA20	A-2	17
第3分団	1部	普通ポンプ車	イズズ	SKG-NMR85N	H23	YSA20	A-2	13
	2部	普通ポンプ車	イズズ	BKG-NMR85N	H22	YSA20	A-2	15

栃木市消防本部 栃木市消防署	TEL 0282-22-0119 (代) FAX 0282-23-6562
大 平 分 署	TEL 0282-43-3500 FAX 0282-43-3741
藤 岡 分 署	TEL 0282-62-3337 FAX 0282-62-2390
都 賀 分 署	TEL 0282-92-7084 FAX 0282-92-8644
西 方 分 署	TEL 0282-92-2203 FAX 0282-92-2466
岩 舟 分 署	TEL 0282-54-4119 FAX 0282-55-7999